

2 0 0 1

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHERAUME GAKUEN COLLEGE

目次(教養科)

教養教育科目(1年)	1
文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
心理学入門	17
マスコミュニケーション概論	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25~27
総合英語 I-1、2	28・29
海外語学研修	30
選択語学 I-1、2 英語	31・32
選択語学 I-1、2 独語	33
選択語学 I-1、2 仏語	34
スポーツ(テニス)	35
スポーツ(ダンス)	36
スポーツ(バレーボール)	37・38
スポーツ(バドミントン)	39
スポーツ(トランポリン)	40
健康科学	41
スポーツ科学	42
専門教育科目(1年)	43
教養演習 I	45~51
英国語学研修 (事前指導含む)	52
英語特別演習	53
英文の構造	54
英語の音声	55
リーディング	56
英語表現	57
英会話 I	58
文学の読み方	59
日本文学史	60
小説の世界	61
日本語表現法	62

歴史の見方	63
古代の歴史（考古学を含む）	64
史料で読む歴史	65
日本文化論	66

資格科目 情報科目(1年) 67

情報検索演習	69
情報機器論	70

資格科目 博物館科目(1年) 71

博物館学	73
博物館実習	74
教育学概論	75
生涯学習概論	76

資格科目 司書科目(1年) 77

図書館概論	79
図書館経営論	80
図書館資料論	81
資料組織概説	82
資料組織演習	83
児童サービス論	84

特別選択科目(1年) 85

時事・社会特講	87
労働・健康特講	88
家庭介護総論	89
家庭介護演習	90
家庭介護実習	91

教養教育科目(2年) 93

総合英語Ⅱ-1、2	95・96
選択語学Ⅱ-1、2 英語	97・98
選択語学Ⅱ-1、2 独語	99
選択語学Ⅱ-1、2 仏語	100

専門教育科目(2年) 101

教養演習Ⅱ	103~109
卒業研究	110
英会話Ⅱ	111
時事英語	112
ビジネス英語	113
英米の歴史	114
インターネットの英語	115
異文化コミュニケーション	116
詩歌の鑑賞	117

説話文学	118
平安文学	119
中近世の文学	120
近現代の文学	121
英米の文学	122
民俗学	123
中近世の歴史	124
近現代の歴史	125
東アジアの歴史	126
日本女性史	127
芸能史	128
現代女性論	129
女性労働論	130
現代企業論	131
情報・資格科目 情報科目(2年)	133
情報処理論	135
情報ネットワーク論	136
情報・資格科目 ビジネス実務士科目(2年)	137
ビジネス実務総論	139
ビジネス実務演習	140・141
オフィス・マネジメント	142
情報・資格科目 博物館科目(2年)	143
博物館実習	145
視聴覚教育メディア論	146
情報・資格科目 司書科目(2年)	147
図書館サービス論	149
情報サービス概説	150
レファレンスサービス演習	151
専門資料論	152
資料特論	153
コミュニケーション論	154
図書館特論	155

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>小説・映画・ドラマの中の世界は、どこにあるのか。それは我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」である。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標である。</p>	
【テキスト】 随時プリントを配布する。	
【参考書】 講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような流れで講義する。具体的作品等はプリントを使って紹介する。</p> <p>①「フィクション」について。</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するに全て「作り事」、つまり「嘘」である。映画もテレビドラマも同様である。しかしなぜ、我々はそんな「嘘」に感動したり、強い影響を受けたりするのか。——このような問題を考察する。</p> <p>②「作品世界」の構造（しくみ）について。</p> <p>「作品世界」つまり「もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのか。そもそも、それは誰が「見ている」世界なのか。語っているのは「誰」なのか。少なくともそれは、いわゆる「作者」ではないはずである（例えば川端康成は「駒子」を「見る」ことは出来ない）。——このような問題から考察を始める。</p> <p>③フィクションと「現実」について。</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」というが、では「現実」とは何なのか。何が「フィクション」で、何が「フィクション」ではないのか、の問題を考察する。</p> <p>○日本とヨーロッパの近代文学作品を中心に、美術・音楽も視野に入れた講義になる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の古典の多くが、受験文法の説明に使われるのみで、内容が知られないのは残念なことです。優れた古典は作品としての主張を持っており、現代に通じるものを必ず持っています。そのおもしろさに気づくことが、第一の目標です。そして、何が、何故おもしろいのかを検討し、文学の本質について考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>平安時代の『竹取物語』を取り上げます。姫はなぜ竹の中にいたのか。翁はどんな子育てをしたのか。で、姫は人間になったのか。なぜ月から追放され、よりによって人間界に来たのか。天皇を含む求婚者は、なぜ皆拒絶されたのか。知っているつもり の物語は、実は謎がいっぱい。</p> <p>I 『竹取物語』の構成と主題について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな口承の話型（化生説話、致富説話、難題婚説話、羽衣説話、地名起源説話）を組み合わせて、物語は、書くことによって、ある主題を追求していくようです。上記の疑問を解明しながら、物語のおもしろさについて考えます。 <p>II さまざまな竹取説話を知る</p> <p>『竹取物語』以外にも、様々な竹取説話が伝わっています。今昔物語、海道記、古今集注、奈良絵本、現代の絵本などから、関係の部分を見ていき、平安『竹取物語』の特徴について、あらためて考えたいと思います。</p> <p>III 参考：＜浦島太郎＞の異界について</p> <p>古く『万葉集』『風土記』などに見える話が、平安時代の漢文作品を経て、やがて謡曲や御伽草子に取られていきます。もう一つの異界（海神の国）の話を覗いてみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 話し言葉の文芸	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>将来に資するために、口承文芸をとりあげます。</p> <p>初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。</p> <p>大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p>	
<p>【テキスト】拙著『沖繩・奄美の説話と伝承』（おうふう・刊） （他に資料プリントを配る。スライド・ビデオ等映像資料上映）</p>	
<p>【参考書】適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <p>I. 序（導入）——「わが国をニッポンというのはなぜか。」・国号と環太平洋の太陽神話</p> <p>II. 口承文芸概説</p> <p>(1) 神話</p> <p>(2) 伝説</p> <p>(3) 昔話</p> <p>III. 文芸の起源</p> <p>(1) 自然と人間の意識と神観念</p> <p>(2) 「謡い」と「語り」の発生</p> <p>(3) 信仰と説話——個人レベルから国家レベルへ</p> <p>(4) 神話の発展——伝説・昔話へ。</p> <p>IV. 口承文芸の現代的意義</p>	
<p>【評価方法】定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート等参照可とする。</p>	

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 最近、映画化される西洋文学作品が多いのは良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くためと、優れた文学作品が時代をこえて生き残るためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本講義では、比較的最近、映画化・公開された西洋文学作品を取り上げ、小説と映画との違いに着目しながら小説と映画それぞれの魅力を探る。</p>	
<p>【テキスト】 なし（プリント使用）</p>	
<p>【参考書】 必要に応じて授業中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>毎回一つの文学作品とそれを映画化した作品を取り上げて講義し、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。</p> <p>取り上げる予定の作品：</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1595年）；同映画（1968年及び1996年）</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』（1811年）；同映画（1995年）</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』（1847年）；同映画（1944年及び1996年）</p> <p>ナサニエル・ホーソーン『スカーレット・レター』（1850年）；同映画（1995年）</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』（1868年及び1869年）；同映画（1933年、1949年及び1994年）</p> <p>ルーシー・モード・モンゴメリ『赤毛のアン』（1908年）；同映画（1985年）</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』（1936年）；同映画（1939年；リマスター版公開1998年）</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』（1982年）；同映画（1985年）</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（1988年）；同映画（1993年）</p> <p>ほか</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】 平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代の幕開けは開国から始まった。海からのプレッシャーがどのように日本の近代を開いたか。江戸時代が終わりをつげ、新たに明治が始まる時、何が大きく変化したのか。それは維新の変革と呼ばれるものの中身を問うことでもあり、また、そこから始まる近代日本の特質を捉えることでもある。政治の表舞台だけでなく、激動の中で行動し主張する人々の姿にも目を向けてみよう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>幕末の社会の動きを追うことからはじめ、開国を経て維新政府の成立、明治新政の開始頃までを時間の流れに沿って話して行きたい。この時代についての予備知識は必要としない。以下のようなテーマで、できるだけかみ砕いて話をしたい。</p> <p>△大塩平八郎は何を訴えたか ▲水野忠邦の改革はなぜ失敗したか △ペリーはなぜ日本を訪れたか ▲井伊直弼はなぜ開国に踏切り、そしてなぜ暗殺されたか △皇女和宮はなぜ降嫁したか ▲新選組は何を守ろうとしたか △世直し一揆と「ええじゃないか」は何を求めたか ▲議会制をも構想した坂本龍馬のプランとは △大政奉還を決意した徳川慶喜の思惑は ▲西郷、大久保、木戸はなぜ武力倒幕に踏み切ったか △維新政府はなぜ「富国強兵」をめざしたか ▲征韓はなぜ唱えられ、そして挫折したか △大久保が選んだ「内治優先」とは ▲自由民権の思想は何をめざしたか △なぜ軍拡と対外膨張の近代か</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 深川美奈
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>西洋世界の歴史事象に関する基礎的知識の習得を目的とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>松村赳、西川正雄、山口定、『地域からの世界史<14> 西ヨーロッパ<下>』、 (朝日新聞社、1993年)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>フランス革命以降の西洋世界の成り立ちから戦後世界に至るまでを、いくつかのテーマに即して概説する。その際、第二次世界大戦後のヨーロッパ復興を民衆の視点から考察することをテーマの一つとして考えている。その他のテーマについては開講時に説明する。</p> <p>参考書は、適宜紹介する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、出席で総合評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることとする。そこから、美術作品を見る眼、さらには美術分野に関する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講者諸君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献等は必要に応じて授業中に紹介して行く。</p>	
授 業 計 画	
<p>紀元前6世紀頃、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象としての仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各地に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。</p> <p>通例「東洋」とは、インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語といつてよい。しかし、その範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一樣ではないため、必然的に地域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度も、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻に焦点を当て、その様式の古代から中世にかけての変遷について概観する（余裕があれば鎌倉時代以降の流れについても言及したいと考えている）。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮半島の強い影響を受けて進展を遂げており、彫刻も例外ではない。そこで、本授業においてもこの点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮半島等の仏像を比較参照の意味で紹介して行きたいと思っている。</p> <p>授業はおおよそ以下の順序（前後することもある）・内容を予定している。一つのテーマを1～3回の講義でまとめて行くつもりである（授業回数都合により一部変更する場合あり／ほぼ毎回スライドを使用する予定）。</p> <p>I. 仏像の見方</p> <p>① 仏像の種類・かたち ② 仏像の材質・構造</p> <p>II. 仏像の誕生とその伝播</p> <p>③ インドから中国・朝鮮半島への流れと日本への伝播</p> <p>III. 日本における仏像様式の展開</p> <p>④ 飛鳥時代の彫刻～《仏教伝来・渡来仏・止利仏師・止利様式と非止利様式・法隆寺の諸像》</p> <p>⑤ 白鳳時代の彫刻～《小金銅仏・当麻寺の諸像・旧山田寺仏頭・童顔童子形像》</p> <p>⑥ 天平時代の彫刻～《法隆寺塔本塑像・薬師寺、興福寺、東大寺、唐招提寺の諸像・写実表現の完成》</p> <p>⑦ 平安時代の彫刻～《唐招提寺木彫像群・密教尊像・一木造像・大仏師定朝と定朝様式・和様化・寄木造像》</p> <p>⑧ 鎌倉時代の彫刻～《運慶、快慶と慶派仏師・宋風彫刻・新たな写実表現》</p> <p>IV. 総括</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 平常点（出席状況＝2/3以上の出席が原則・受講態度等） ② レポート（1回） ③ 定期試験（筆記）</p> <p>以上を総合して判断する。詳細はあらためて授業中に説明する。</p>	

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

} 左記3項による総合評価

【授業科目】 現代社会論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちが生活している今の社会はいろいろな側面から捉えていくことができる。 本講では、「文化」を主たるテーマにして、現代社会を論じてみることにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業中に適宜指示する</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「文化」のさまざまな定義 2. 人間にとって「文化」がもつ意味 3. 「文化」への参加のいくつかの段階 4. 「文化」の発生から消滅までの図式 5. 「文化」の諸相 (1) 子どもの「文化」 6. 同上 (2) 若者の「文化」 7. 同上 (3) おとなの「文化」 8. 同上 (4) 高齢者の「文化」 9. 生活の節・年中行事としての「文化」 	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト（ノート等持ち込み不可）</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】 ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目】 日本国憲法	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】 無</p>	
<p>【参考書】</p> <p>さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いません（レジュメ配布）。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 伊田 広行 「シングル単位の社会論」（98年 世界思想社）を読むことを強く勧めておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会では女性がどのような状況におかれているかを、女性労働と恋愛・結婚、という2本の柱を立てて、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討します（たまにビデオをみることもあります）。</p> <p>具体的には労働では、① M字型雇用 ② 総合職・一般職 ③ セクシュアル=ハラスメント ④ 派遣労働 ⑤ 育児・介助休暇 ⑥ パート労働 ⑦ 性別職務分離・男女賃金格差 ⑧ 男女雇用機会均等法・労働基準法 ⑨ 就職・転職、の9項目を、</p> <p>恋愛・結婚では、① 恋愛観・結婚観 ② 結婚 ③ 家事 ④ 育児 ⑤ 夫・恋人の暴力(DV) ⑥ 子どもの虐待 ⑦ 離婚、の7項目を予定しています。</p> <p>注意点</p> <p>1) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>2) 飲食などの、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべりなどは絶対的に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学年末に簡単な筆記試験を行ない、その評価をもとに授業の出席点（レポート点）を加味して評価を下します。</p>	

【授業科目】 政治学入門	【担当者】 梅田 欽治
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主権者の一人として、日本と世界の政治に関心を持ち、自立した自分の意見をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のなかで資料を配付し、それをテキストにします。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業のなかで紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「政治なんて嫌い」「政治は私には関係ない」「政治は難しくて、わからない」などという人がいるかもしれません。本当にそうなのだろうか。</p> <p>実は、政治はドラマのように面白いのです。しかも私たちの生活に直接、関係しています。どうして、いまの日本の政治に怒らないのか、憤らないのか。</p> <p>どうして、あきらめているのか。このままで、私たちの未来はどうなるのだろうか。</p> <p>こういうことを知りたい人は、この授業を受けたい。</p> <p>毎回、なにか新しい発見があるでしょう。</p> <p>いよいよ新しい世紀、21世紀が幕を明けました。この21世紀はどのような時代になるのか、どのような時代を創ることができるのか、そのヒントは20世紀の歴史のなかにあるのです。20世紀の歴史のなかで、政治について考えることにしましょう。</p> <p>戦争と平和、人権・環境…大きな課題があります。</p> <p>そして、それらの根底には「国家と個人」「個の自立」という問題があるのです。</p> <p>私たちは日本国の主権者です。私たちが政治を動かすのです。日本を創るのです。政治学入門は、そのために学ぶのです。入門だから、気楽に受講しなさい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、受講態度と試験の結果で評価します。</p>	

【授業科目】 生活の経済学	【担当者】 高橋美保
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間はすべて、さまざまな欲求を充たしながら生活している。その欲求の対象は物質的なものだけでなく、精神的なものも含まれている。したがって生活経済論はいろいろの側面をもっている。授業では、現代の日本社会の中の人々の暮らしを市場経済的側面からとらえるだけでなく、経済外的な側面も考察し、総合的に現代の生活経済の基本的な知識を習得するようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で、適宜紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>次のような編成で、講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族形態の多様化と家計 2. 国民経済の中の家計 3. 税金と社会保障費の負担 4. 収入と収入構造の変化 5. 支出と支出構造の変化 6. 家計の貯蓄と負債 7. 環境に優しい家計 8. 医療制度の現状 9. 社会保障制度の現状 10. 余暇生活 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席状況とレポートによって評価する。</p>	

授業科目 心理学入門	担当者 林 潔
開講時期 1年後期	
授業目標 性格理解と社会的関係における人間理解	
テキスト なし	
参考書 随時紹介します。	
授 業 計 画	
<p>さまざまなタイプの人があります。 同じ事柄についても受け止め方がさまざまです。 どうしてなのでしょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動について心理学はどのように考えているか。 経験を重視する（学習理論） ものの見方や考え方を重視する（認知論） 過去、特に幼児期の体験を重視する（精神分析） 2. 性格について考える ここでは今日の性格についてのいくつかの基本的な見方について紹介します。 3. 人間関係について考える 人間の悩みは人間関係の悩みだともいわれています。 ともすればやっかいな人間関係、その特徴と、いくつかの対処法について紹介します。 	
評価方法 平常点、指定図書レポート、中間試験、期末レポートで評価します。	

【授業科目】 マスコミュニケーション概論	【担当者】 瀬木博道		
【開講期】 1年 後期			
<p>【授業目標】</p> <p>現代はマスコミ支配の時代ともいえる。このマスコミを初歩から説き起こし、マスコミ現象が社会に及ぼす影響について考えられるようにしたい。言論の自由の基礎になる「知る権利」を重点に学ぶと同時に、社会で実際に必要となる広告、広報の理論と実際もさぐって行きたい。</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>瀬木博道ほか共著 「コミュニケーションするPR」電通</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>瀬木博道ほか共著 「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所</p>			
授 業 計 画			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. マスコミの理論（上） 2. 同（下） 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 7. 言論の自由と知る権利（上） 8. 同（下） 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念 </td> </tr> </table>		1. マスコミの理論（上） 2. 同（下） 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界	7. 言論の自由と知る権利（上） 8. 同（下） 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念
1. マスコミの理論（上） 2. 同（下） 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界	7. 言論の自由と知る権利（上） 8. 同（下） 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念		
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、受講態度を参考にして、学期末の筆記試験で決める。</p>			

【授業科目】 自然科学史	【担当者】 柳下登
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の自然についての理解がより科学的な考えにとってかわった過程を概観することにした。そして、各論として生命の正体の追求とその成果による生命操作を考察し、最後に 21 世紀の科学・技術と人間、社会の課題についても言及したい。</p>	
【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。	
<p>【参考書】 新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書、遺伝子組換え作物に未来はあるか（柳下登ら）本の泉社 世界のたね（E. ニュート）NHK 出版</p>	
授 業 計 画	
<p>1) 自然科学史 a. 自然とは b. 自然科学とは c. 歴史科学とは</p> <p>2) 科学を成立させた人間の条件 a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道 c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か</p> <p>3) 古代のエジプトとギリシアでの「科学」の起こりと近代科学の成立 a. ナイル河の知的贈り物 b. 自然を見つめた人びと c. 諸学の根源—アリストテレス d. アリストテレスに別れをとげニュートンへの道</p> <p>4) 生き物の正体を求めて a. アリストテレスの自然のはしご b. ヘルモントらの自然発生説 v s パスツールの実験 c. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ d. ラマルク：生物は段々と複雑になった e. ダーウィン：生物は共通の祖先から f. オパーリの生命の起源と自然発生」説の復活 g. メンデルの遺伝の粒子説 h. ワトソン・クリックの DNA の 2 重らせん i. バイオテクノロジー（遺伝子組換え、クローン、ゲノム解析）の確立</p> <p>5) 21 世紀の科学技術と人間、社会の課題 a. 市民参加による共通理解と合意形成</p> <p>6) 私の研究史：ピートン物語</p>	
<p>【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、希望によって、自発的なテーマの設定による科学博物館見学、自然科学関係図書読書などについてのレポートも評価に加える。</p>	



【授業科目】 生命の科学	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>21世紀を迎えた今、「生命」に対する考え方は大きく変貌しつつあります。この変貌を支える「生物学・医学」で扱う「生命の成立過程」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な面から理解を深めることで今後、人類が個人レベルで判断・選択を迫られる「生命」というものについて考えてみたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト・参考書は特に指定しない。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するために、おおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できる限り実物を自分の眼で見、手で触り、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。</p> <p>以下に時間ごとのおおよその講義タイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートあるいは筆記試験</p>	

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球上に生命が誕生したのは20数億年前という。以来、地球生態系は多種多様な生物によって脈々と維持され続けてきた。この生態系にヒトという種が加わったのはわずか数百万年前のことである。当初、ヒトは多くの生物たちと共存してきた。しかしこの一世紀ほどの間に多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人間による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は生態系の単純化につながり、ヒトの生存も危うくなる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997. 9 翔泳社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>海洋生物学者の Rachel L. Carson は『Silent spring』の中で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。40年近くたった今また、環境ホルモンという合成化学物質が生物の世界に影響し始めた。40年前の警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？</p> <p>授業では基礎的な科学の素養が必要。今までの勉強で得た幅広い知識を生かして臨んでください。</p> <p>自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌かく乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】 平常点+筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでも正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】 「物質とは何か」-化学の基礎- 東京化学社</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的な現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても授業を受けることで理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸はなぜ酸っぱく感じられるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるのだろうか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギーを考える。 13. 物質科学から見た衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官の生理機能の理解 3. 疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 4. 女性の医学 5. 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論 南江堂	
【参考書】 新・健康管理概論（改訂第2版）医歯薬出版 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第9版）南江堂	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（Ⅰ-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（Ⅰ-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（Ⅰ-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（Ⅱ）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（Ⅰ）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（Ⅱ）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（Ⅲ）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健・ 第12回 日常出会う乳幼児疾患 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点と筆記試験	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は地球史の中では最も新しく出現したにもかかわらず、地球の自然環境を自らの手で改変するまでに至っている。また生命史という観点では、人類の遠い先祖は地球創生期の30数億年前まで遡る事ができる。この授業では宇宙の一員としての悠久の地球史と生命史を通して現在の地球環境を考察する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて随時推薦する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 新しい地球観—プレートテクトニクス— 2) 地球の概観—陸地と海洋— 3) 地球の内部を探る 4) 地球の構成物—身近な鉱物と岩石の科学— 5) 防災の科学としての地球科学—地震と火山— 6) 地球環境の変遷と古生物—繁栄と絶滅— 7) 宇宙の中の地球 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と論述形式のテストで評価する</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】	
<p>【総合科目人間全体について】</p> <p>1年間で3人の教員が担当する総合科目であり、「ヒューマニズムと人間」の考察が大目標である。</p> <p>栗田（前期前半）→ 鍾（前期後半）→ 平賀（後期）の順で講義する。</p> <p>【栗田担当分について】 哲学的なアプローチで「人間・ヒューマニズム」を考察する。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「ヒューマニズムは間違っている」と言う人は多くないが、では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。「人間を大切にするのは当たり前だ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。要するに、「世間的通念」に流されているだけである。「ヒューマニズム」は白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>こうした立場から、おおむね、以下の順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」態度について。 ② 「自己」と「世界」 ③ 我々の状況—近代に於ける「人間」の問題 ④ 「近代ヒューマニズム」思想の問題点 ⑤ アイデンティティーと共同体 	
<p>【評価方法】 <u>1年間を通して</u>（3人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）<u>全体として成績評価を下す</u>。</p> <p>栗田担当部分の評価は、レポートにより、出席点を加味する。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は中国の事例を中心に、国際比較を通して、①自然に対する人間の意味付与と自然への融和、②人間の拡張欲望、③人間の消費欲望、④人間の欲望を実現・制限する現代国家、について分析する。日本人と中国人の人間像の異同及び現代国家における個人・家族の苦闘を探究する。異文化比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、現代国家、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費の動態と家族の変動』新曜社、1999年。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 自然に対する人間の意味付与と自然への融和 ①中国の住宅と日本の住宅との比較 ②「風水」信仰の意味・背景・影響</p> <p>II 人間の拡張欲望 — 家族の日中比較 ①外国人が見る日本の家族構造の特徴 ②中国の家族構造と伝統文化の深さ ③中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 ④中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位</p> <p>III 人間の消費欲望 ①中国民衆の消費動態 ②近代化が進む中国民衆と日本民衆との共通点</p> <p>IV 人間と国家 ①人間の欲望を実現する手段とする現代国家 ②人間の欲望を制限する装置とする現代国家</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（テキスト・ノートなど参照可）と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の意味するものを含め、その状態にするためにはどのような取り組みが必要か、そしてこれまでその目的のためにどのような積み重ねが行われてきたかを明らかにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特にさだめない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まず戦争と平和の問題をてがかりに話を進めるが、非戦争状態＝平和とは必ずしも言えないのが現代社会の特徴でもある。そのような非平和的状态を的確に捉えることも課題として重視したい。大きく以下のような柱立てを考えている。</p> <p>△18, 19世紀のヨーロッパイギリス、フランス、ドイツの国民国家形成 ▲帝国主義戦争の時代－現代の地域紛争の原因 △日本の近代化＝遅れた国民国家形成－特異なナショナリズム形成 ▲第2次世界大戦とその後の冷戦 △核時代とゼロサム社会の現実 ▲地域紛争の実相を探る－湾岸の危機、コソボ紛争、東ティモールの現実 △戦争の世紀＝20世紀の克服－国民が国家を超える時 ▲平和思想の歴史から何を学ぶか △日本国憲法、国連の役割と改革、NGOの可能性 ▲飢餓、貧困、差別の実態 △地球市民としての自覚と行動</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングおよびリーディングを中心にして、英語の基本的技能を維持し、向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 1) Task Listening (KINSEIDO) 2) Intermediate Faster Reading (成美堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今までの学習を通して培ってきたはずの英語の基礎知識を確認しながら、実際の場面でも活用できるコミュニケーション能力を、是非少しでも獲得できるような授業をしたいと思っている。</p> <p>また、比較的易しい英文を読んで、短い時間で要点を押さえる練習をしていきたいと考えている。学生には是非毎回の積極的な参加をお願いしたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りをてがかりに、基本的な英語運用能力を養成しなおす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>大学に入学して、意欲にあふれる時期に、初心に戻って英語の根幹を学んでいただく。切実に英語を学び直したいと願っている人は、積極的に参加していただきたい。最初はわかりきったところからはじめるが、少しずつ難しくなっていくので、気を抜かないこと。</p> <p>最初の数カ月は、基本的な発音、語彙、文法をみっちり詰め込む。説明されたことを理解したら、その場ですぐに使って覚えていく。指示されたことや思いついたことを口に出していってみる。テープによって、発音や基本的な会話のリズムを確認する。いずれも、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになろう。このようにして基本的な運用能力を高めていく。</p> <p>小テストを行うことによってさらに理解と記憶を確かなものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期 (集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在し、生活レベルの英語力を身につけながら、イギリスの文化について学習する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間のプログラムに参加する。その間の生活は、ホームステイ。ウィークデイは1日2コマの英語の授業があり、現地の教員が懇切丁寧に指導する。また、世界中から集まる学生達とスポーツやパーティをする機会もあり、英語圏だけではなく、世界を広げることも出きるだろう。週末には、近くにある有名な史跡などを訪ね、イギリスの歴史や文化に親しめる。ロンドン観光を含めて約4週間のイギリス滞在は、英語の見方を変えてくれるかもしれない。</p> <p>出発に向けて、前期に5回、事前指導を行い、パスポートの取得から、渡航手続き、現地での生活の仕方、簡単なサバイバル英会話まで指導します。詳しくは、説明会を行いますので、その場でどうぞ。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地での提出物に平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 英語	【担当者】 スワン・W・ローレン
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
【テキスト】 ありません	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキットを作り、おぼえ、そのあと演じてもらう。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：<u>このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。欠席・遅刻については厳しく取り扱う。</u></p>	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学 I-1、2 英語	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今まで身につけた英語力をもとに、新世紀を迎えての、技術、人間、環境といった分野における種々な課題を考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><i>Progress in our world</i> <i>- Technology, the environment and society -</i></p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>21世紀の課題 成美堂 ¥1,700</p>	
授 業 計 画	
<p>22の chapter で細かく分かれているので、受講者の希望でどの chapter から読み出すかを定める。決めたらには授業に出席する前に、必ず読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テスト、平常のテスト、及び出席日数を総合する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－1, 2独語	【担当者】今野 礼子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語の文法の基礎を日常会話を中心とした練習の中で身につけ、簡単な日常会話ができるようになることをめざします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 簡単な日常表現を聞き、理解し、反復し、さらに自己の表現に応用して、対話する練習を積み重ねていきます。 2. ドイツ語圏の生活と文化を学びながら、ドイツ語の教養を広めます。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語以外の外国語を大学に入って学ぶことは、心がわくわくするものです。フランス語を共に学びながら、行ったこともないフランスの文化や歴史、フランス人の生活、習慣、考え方を知る喜びを享受してください。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《C' est facile!》 角山元保著 三修社</p>	
<p>【参考書】</p> <p>辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>◇3限→フランス語の発音、文法を教科書《C' est facile!》を使って勉強していきます。</p> <p>◇4限→《Bienvenue en France》と言うビデオ教材を元にビデオを見ながらフランス語に親しんでいきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点</p>	

【授業科目】 スポーツ (テニス)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク (フォアハンド&バックハンド)</p> <p>サービス (アンダー&オーバー)</p> <p>ボレー (ロー&ハイ)</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (主にダブルスゲーム)</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内においてスポンジテニス等を行います。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目】 スポーツ（ダンス）	【担当者】 松村 朋子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>・エアロビクスダンス、フォークダンス、ソーシャルダンスなど様々なダンスに触れて、運動不足の解消、運動機能の向上をはかるとともに、楽しみながら運動することを第一目的としてほしい。前半は、多様なダンスの基本的な運動を中心とし、後半は、ダンスプログラムの習得・構成・発表を行う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、ストレッチ からだ全体を使って、自由に運動できるように柔軟性を高める。 普段あまり使わない筋肉を意識的に動かす。</p> <p>2、基本コンビネーション スキップ、ツーステップ、ターンなど基本的な動きを使った短いコンビネーションを習得する。 フォークダンスやソーシャルダンスの簡単な動きを覚えて、繰り返しの動きの楽しさを体験し、リズム感を養う。</p> <p>3、ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせる構成されたプログラム（2分程度）の振付を覚える。</p> <p>4、グループでのダンス構成と実演 習得したダンスプログラムをグループで構成して発表する。ビデオ撮影を行い、クラスで鑑賞する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度（授業への積極性）を特に重視する。作品発表を実技テストとする。</p>	

【授業科目名】 スポーツ（バレーボール）	【担当者】 村田 務												
【開講期】 1年 前期													
<p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動継続への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法 													
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 : バレーボール、成美堂、1995年。 日本バレーボール協会：バレーボールルールブック、2001年度版。</p>													
授 業 計 画													
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボール運動が継続できるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざす。</p> <p><u>学習内容</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 個人的技能</td> <td>・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング</td> </tr> <tr> <td>② 集団的技能</td> <td>・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり</td> </tr> <tr> <td>③ 指導技術</td> <td>・ 技術指導法 ・ 体カトレーニング法 ・ 審判法</td> </tr> </table> <p><u>授業の流れ</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 全体活動</td> <td>・ 共通課題の解決</td> </tr> <tr> <td>② グループ活動</td> <td>・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得</td> </tr> <tr> <td>③ ゲーム</td> <td>・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得</td> </tr> </table>		① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング	② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり	③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体カトレーニング法 ・ 審判法	① 全体活動	・ 共通課題の解決	② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得	③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得
① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング												
② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり												
③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体カトレーニング法 ・ 審判法												
① 全体活動	・ 共通課題の解決												
② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得												
③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得												
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）、意欲と活動参加を重視する。</p>													

【授業科目】 スポーツA (バレーボール)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと実習のねらい <ol style="list-style-type: none"> (1) 実習のねらい、展開、評価などについて (2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明 2. 基礎技術、技能の獲得 <ol style="list-style-type: none"> (1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる (2) 基本動作の練習 レシーブ (オーバー&アンダー)、スパイク、サービス (3) 複合練習と簡易ゲーム 3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして) <ol style="list-style-type: none"> (1) ルール、マナー及び試合の進め方について (2) 戦術、ポジショニングの反省 4. ゲーム技術の習得 (6人制) <ol style="list-style-type: none"> (1) ソフトバレーボールによるゲーム練習 (2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション) (3) ゲームの審判法の習得 	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目】 スポーツ (バドミントン)

【担当者】 岡田光弘

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

まったくの初心者でも自分たちだけでゲームができるようになる。

【テキスト】

特に指定しません

【参考書】

特に指定しません

授 業 計 画

1. フォアハンド
2. バックハンド
3. サーブ、レシーブ
4. クリア
5. ドライブ
6. ヘアピン
7. スマッシュ

以上の技術を ミニゲーム、球出し、打ちあい等によって習得する。

シングルス、ダブルスのゲームをおこなう。

【評価方法】

出席を重視する。技術、知識、態度という観点で評価する。

【授業科目】 スポーツ（トランポリン）	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、トランポリンを行なう前のルール説明 2、トランポリンの移動方法 3、トランポリンの準備と片付け方（組み立てとたたみ方） 4、トランポリンへの上り方、降り方 5、トランポリンに慣れるための練習 6、垂直跳びとジャンプの止め方（チェックバウンス） 7、技能練習 <ul style="list-style-type: none"> ・かかえ跳び ・開脚跳び ・閉脚跳び ・腰落ち（シートドロップ） ・ひざ落ち（ニーズドロップ） ・手つきひざ落ち（ハンズ アンド ニーズドロップ） ・腹落ち（フロントドロップ） ・腰落ち－$\frac{1}{2}$捻り－腰落ち（スイブルヒップス） ・開脚跳び－腰落ち ・前方宙返り－腰落ち 8、連続技の練習 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点（出席と危険もともなうので授業態度重視） ・授業中に実技テストを実施する。 	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な知識と態度、及び諸能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題と健康に対する考え方について ・健康の成り立ちと、健康が崩される背景と要因について ・健康の設計と処方（健康な生活を営むのにはどのようにすればよいか）について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 村田務：健康科学入門、2001年版。</p> <p>参考書 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。 国立大学等保健管理施設協議会編：学生と健康、南江堂、1996年。他</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面はもとより、行動学的側面や環境的側面、保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って行動学的側面を中心に、疾病予防と健康増進の学問としての、健康科学の知見や考え方について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学でめざすものの概念 2、今日の健康問題 3、疾病の疫学と健康の成立条件 4、主体・環境と健康との関わり 5、保健行動が健康に与える影響 6、健康を支える保健医療体制 7、健康問題Ⅰ（アレルギー） 8、健康問題Ⅱ（ストレスと精神的健康、ダイオキシンと環境ホルモン） 9、健康問題Ⅲ（生活習慣病：がん、脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病、肥満） 10、健康問題Ⅳ（薬害：サリドマイド、スモン、エイズ） 11、健康生活の設計と処方の仕方 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト，学習意欲を重視する。）</p>	

【授業科目】 スポーツ科学	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>スポーツを諸科学(物理学,化学,生理学,心理学,社会学^等)の視角から理解し,さまざまな実践に役立てること</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しません</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に指定しません</p>	
授 業 計 画	
<p>スポーツと関わる諸科学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理学 2. 化学 3. 生理学 4. 工学 5. 心理学 6. 社会学 7. 哲学 <p>etc.</p> <p>の知見について,主にビデオ教材を用いて解説する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業ごとのレポート,学期末のグループレポートを評価する。</p>	

專門教育科目（1年）

【授業科目】 教養演習 I

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期・後期

【授業目標】〔海と列島の説話〕
日本は広大なアジア大陸の東方海上に浮かぶ島国です。この島国に伝えられる口承文芸には島の外からやってきた話や、外の島々へ伝承されて行った話があります。そんな話をとりあげ、歴史には描かれなかった、この列島内部の問題や周辺諸国との関係を考察します。

【テキスト】資料プリント。その他、適宜指示する。

【参考書】

授 業 計 画

1. 準備講義
 - (1) ゼミの進め方
 - (2) 口承文芸について
 - (3) その他
2. とりあげる説話
 - (1) 岩戸神話
 - (2) 桃太郎説話
 - (3) 浦島説話
 - (4) 徐福伝説
 - (5) 平家落人伝承

【評価方法】レポート。ゼミ・テストを実施する場合もある。

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ゼミ参加者の意見を入れながら、古代（奈良・平安時代）の文学作品について研究していく。できれば、日本の文学作品の中でも最高峰に位置する『源氏物語』に取り組んでみたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【前期】</p> <p>さまざまな物語絵巻（伊勢物語絵・源氏物語絵巻）を調べながら、どのような物語があるのかを知り、平安時代の物語享受の形をつかんでいく。絵詞を読んだり、ビデオ、アニメ、漫画などで、物語の梗概を理解できるようにしたい。</p> <p>【後期】源氏物語の場合</p> <p>第一部の枢要な巻である、「柙（さかき）」「潯標（みおつくし）」をとりあげる。光源氏が、少年から大人になる前後のあたりである。3つの予言が出揃うが、どのようにして、源氏は栄華を手に入れるのか。様々な女性の犠牲の下に、予言は実現するが、果たして幸せなのかどうか。何故、続いて第2部が書かれなければならなかったのか。問題は多い。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 栗田 廣美
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 —— 1年次の目標</p> <p style="text-align: center;">近代文学の名作を多読し、魅力を実感する。</p> <p>まず、「自由で素直な読み」と、個性的な「自分の中に広がるイメージ」を大切にします。小説は、もともと「どう読もうと自由」なものだからです。</p> <p>その中で、文学の魅力を「より深く味わえる力」を養い、「研究」の土台を作ります。</p>	
<p>【テキスト】 「教科書」は用いない。</p> <p>ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1 今まで文学作品を多く読んで来た学生も、ほとんど読んで来なかった学生も、栗田ゼミに入ったら、「読書続ける毎日」を覚悟する必要がある。文学研究の第一の土台は、「読むこと」「読むこと」「読むこと」。</p> <p>——「<u>読書力</u>」は、豊かな「<u>読書量</u>」によって成長する。</p> <p>「今まで読んで来なかったから」などと、心配することはない。意欲さえあれば、十分について来ることができる。意欲と決意が大切。</p> <p>2 初めのうちは、僕（栗田）が、ていねいに「紹介＝解説」するが、しだいに、学生諸君自らが、作品について「語る」ようにする。</p> <p>文学研究の第二の土台は、自ら受けとめた作品のイメージや作品の魅力、問題点を「しっかり把握する」ことであり、また、他の学生の「読み」から刺激を受け、自分の「読み」を深めることである。</p> <p>3 課題とする作品は、「文学・フィクションと人間」講義、「小説の世界」講義、「比較文学」講義、来年度の「近・現代の文学」講義でとりあげる作品を中心とする（それぞれの頁を参照せよ）。——したがって、栗田ゼミの学生は、これらの講義を受講せねばならない（資格取得等の関係上「受講不可能」な学生には、特別の手当をする）。</p> <p>また、上記講義関連作品の他にも、日本近代文学の名作を中心に、ゼミ独自の読書課題を設定する。どれも短大生としてぜひ読むべき作品。</p>	<p>近代文学の名作を たくさん読む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>はじめの内は、 僕（栗田）の解説が中心。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>しだいに、自らの「読み」を 語るようになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>すると、 「ああ、そうだったのか!」と、 作品の新たな魅力が見える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>文学・芸術の豊かな世界が、 自分のものになる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2年生へ 「文学研究」の力をつける。</p>
<p>【評価方法】 平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、何でも参照可）を加味する。</p> <p>ゼミに真面目に参加し、努力して読み続ければ、大丈夫、「A」は確実!</p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨↪</p>	

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性を取り巻く社会状況や問題状況を正しく認識し、それらの問題を将来における自分の問題としてとらえ、問題解決に向けて努力する力を育てたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義資料（プリント）は随時必要に応じて配布する</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>【ゼミのすすめ方と内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、女性問題とは何かを理解するために、最近女性に関してどのようなことが問題になっているかを雑誌『女性情報』によって調査する。 2、調べた内容のうち、自分が一番関心を持った問題を取り上げて報告する。 3、女性問題の所在が明らかになった時点で『東京の女性白書』をテキストに学習をすすめる。 <p>ゼミで取り上げる項目・内容は、恋愛と結婚、女性のライフスタイル、家族や家庭、女性と教育、女性と職業、女性労働と法、女性と社会保障、男女平等をめぐる諸外国の動きなどのほか、近代における女性の歩みなどについても触れたいと思う。学生の皆さんの活発な討論を期待します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの出席・学習状況、報告・発表内容、レポートなどの総合評価</p>	

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 歴史を学ぶためのウォーミングアップ 主として日本の歴史を中心に、前半では、まず大学での歴史の学び方をトレーニングする。文献の読み方、史料の接し方などからはじめ、歴史の具体像に触れながら、それらから何を読み解くかを皆で話し合いながら進めていく。後半は、皆で選んだテキストと一緒に読み、内容を検討しながら、それぞれの持つ近代イメージをさらに豊富化することを目標にする</p>	
<p>【テキスト】 メンバーが確定したところで相談して決める</p>	
<p>【参考書】 多数あるのでその都度紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>まずはそれぞれが関心を持っているテーマ、時代などを出し合い、歴史への興味について話しあう。次いでテーマに関係する文献や史料に接し、内容を報告しあい、歴史の大きな流れをダイナミックにつかむ。</p>	
<p>【評価方法】 分担した報告の内容と時々的小レポートによって評価する</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅰ	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学研究を通してこれからの人生をどのように生きていくべきかを考える。 2. 友人や家族、愛や人間の生きる意味や、社会、自然、環境などさまざまな問題に触れる。 3. 望ましい子ども観とは何かを具体的な作品を読みながら考える。 4. 英米をはじめとした児童文学の歴史を学び、子どものための文学がどう発展してきたかを学ぶ。 5. 最近多くの児童文学が子どもだけでなく大人にも読み直されている意味を認識する。 	
<p>【テキスト】</p> <p>定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに英文で作品を読みながら「子ども観」について考える。 2. 英米児童文学のあゆみを調べながら代表的な作品について考える。 翻訳による作品も多く読んで、毎回レポートする。 3. 各自の研究対象となる作品を選び、原文で読み始める。 4. 原文の読みはきめ細かく行い、自分の感性と理解力によって問題点を発見していく。 5. 各自が発見した問題点を出し合って討論しながら、様々な角度から問題を深く追求していく。 6. ゼミでは発表や討論が重要なので、各自が毎回、問題意識をもって参加することが要求される。 7. 2年生の卒業レポートへの準備としてカード作成の方法や参考文献の調べ方なども学ぶ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】 教養演習 I	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英米文学の主要な作品を読み、イギリス、アメリカの文化的支柱を探ると同時に、小説の読み方を学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>英米文学の主要な作品を翻訳で大量に読む。全員が作品を読んでくるのは当然であるが、毎週、報告者を決めて、問題点の指摘をしてもらう。文学作品は10人が読めば10通りの読み方があるように、報告者の見方とは当然違った解釈を全員が持っているから、自分の考えを披露しながら、討論を進めていく。その際文学作品を読むためには、方法と呼ばれる戦略があることを学んでいこう。ひとつの作品が読み終わったところで、レポートを書いてもらい、それを踏まえて再び討論することで、一作品の理解を深めていこう。</p> <p>まず始めに、イギリスの作家エミリー・ブロンテの『嵐が丘』から読み始める。英国語学研修に参加する学生は、作品の舞台となったハワースを実際に目にするができるだろう。その後、何を読むかは、ゼミが始まってから指示する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートに平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 英国語学研修（事前指導含）	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに3ヶ月滞在し、英語運用能力を高めると同時に、イギリスの歴史や文化について学習する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>イギリスはリーズ・メトロポリタン大学で3ヶ月間の語学研修に参加する。この間、生活はホームステイ。ウィークデイは1日2コマの英語の授業があり、現地の教員が基礎から分かりやすく指導する。また、世界中から集まる学生とスポーツをしたりパーティを開いたり、英語圏だけではなく世界へと窓を広げることが出来るだろう。リーズ近郊には、中世の町並みを残したヨークや『嵐が丘』や『ジェーン・エア』などの傑作を残したブロンテ姉妹の故郷ハワースといった名跡もあり、このような町を訪ねることによって、イギリスの歴史や文化に直に触れることが出来る。積極的にかつ食欲に学習することによって、3ヶ月後帰国するころには、かなりの英語力が期待できるだろう。</p> <p>後期の留学に向けて、前期は、事前指導を行う。基本的には、現地で生活するための基礎的な英語を学習するが、パスポートの取得、渡航手続き、現地での生活情報案内などもこの場で行う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点に現地からの情報を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 英語特別演習	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 1. 英語を総合的に学びながら、真のコミュニケーションとは何かを考える。 2. 映像を通して英米をはじめとした文化の多様性を学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する。	
【参考書】 Video in action (Susan Stempleski & Barry Tomalin: Prenticehall) REACHING FOR THE STARS (Eichosha Longman)	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画についての解説を英語で読む。 2. 英米の文化を表現している映画を鑑賞する。 3. 映画の内容をまとめたり分析したりする。 4. 映画を通して英語音声の聞き取りにも慣れる。 5. 画面で登場した人物の表情を見ながら、音声や身体全体による表現を学ぶ。 6. 必要に応じて映画の一部を演じてみる。 7. 年間で4～5本の映画を予定している。 	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 英文の構造	【担当者】 上原重一
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>すでに中学・高校で英語を学習しているが、言語の構造が日本語と違っているので理解が十分でなく、思うように使いこなせないという難がある。英文の構造を、日本語と対比しながら、話す・聞く・書く・読む力を伸ばすことを目標にする。特に、聞くこと、書くことに重点を置き、文化的な背景の知識と語彙力のアップに努めたい。</p>	
<p>【テキスト】 Let's Chat! (さあ始めよう 会話作文)</p> <p>上杉 明、伊藤典子、Cathleen Godfrey著 (朝日出版社)</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業の中で、必要に応じて提示します</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 総論：英文の構造の特色（英語の歴史を含めて） 2 英語の挨拶 現在完了形を中心に時制 3 助言の仕方 現在分詞の使い方 4 依頼・返答 他動詞と自動詞の違い 5 Yes or No 使役動詞 6 心配事に対する対応 関係代名詞 7 判断の表現方法 現在進行形 8 招待への受諾・断り 未来形 9 提案と返答 助動詞 10 ためらい、願望 仮定法を用いた表現 11 話し手の主観的判断・推定 Whatの上手な使い方 12 相手に同調・賛成する表現 tell/say/speak/talk の用法 13 激励の言葉 too/enoughの用法 14 感謝の言葉 比較級／前置詞 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の中で練習問題の成果と宿題の成績。 それらと、期末に提出してもらったレポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 英語の音声	【担当者】 ライラ・コルースイ
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 正確な発音とイントネーションを身につけること	
【テキスト】 プリント	
【参考書】 —	
授 業 計 画	
LL 教室を使って 次のところをきちんと練習します 1. 母音の微妙な相違 2. 日本語のない子音 3. 会話のメロディ (イントネーション) のあがりさがり	
【評価方法】 ①出席率 ②参加 ③期末テスト	

【授業科目】 リーディング	【担当者】 田中安行
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな方法で英文の構造を理解して、速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史 などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。同時に21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練 ビデオ教材やテープを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような練習を行う。 2. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、音声による表現もできる力をつける。 3. 文章理解 さまざまな形式の英文を使って、文の構造を理解させながら、チャンクを使ったリーディングやパラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を用いて文章の内容理解ができるようにする。 4. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、歴史、時事問題などの英語教材を用いて、広い視野で学び、世界の多くの文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な物語、英詩、エッセイ、英字新聞やインターネットからの時事英語などを教材に使う。 2. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 5. 自己表現英作文、英詩作り、文集作りなどによって実践的な英語力を高める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよびテストなどで総合的に評価をする。</p>	

【授業科目】 英語表現	【担当者】 ライラ・コルースイ
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 日常英会話と基本イデオロギをマスタ すること。	
【テキスト】 フリート	
【参考書】 英和 和英 辞典	
授 業 計 画	
1. I'd Like to talk about ——. (3-minute talk) 2. Conversation Exercise 3. Grammar Exercise 4. Idioms 5. Translation 6. Listening & Discussion	
【評価方法】 ① 回 目のレベル チェックテストと 15 回 目の 期末テストの進歩 度合 ② 出席率 ③ 宿題 ④ 参加	

【授業科目】 英会話 I

【担当者】 ライラ・コルースイ

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

日常英会話と基本イデオムをマスターすること。

【テキスト】

プリント

【参考書】

英和 和英 辞典

授 業 計 画

1. I'd Like to talk about _____
(3-minute talk)
2. Conversation Exercise
3. Grammar Exercise
4. Idioms
5. Translation
6. Listening & Discussion

【評価方法】

- ① 回目レベルのレベルチェックテストと15回目の期末テストの進捗度合
- ② 出席率
- ③ 宿題
- ④ 参加

【授業科目】 文学の読み方	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品を読んで、そこから大きな意味を引き出す時に必要な方法を理解する。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>文学作品は読んで初めて意味を持つ。従って読むことは大前提。 しかし、漠然と読んで粗筋を追うだけでは、せつかくの文学作品も意味薄。 自分にとって何か大きな意味が隠れていないか。そんな時に作品を読む方法が必要になる。 それだけではない。優れた文学作品を読むと、しばしば感動する。どうして人は文学作品を読んで感動するのだろうか。みんなで考えてみよう。 授業は、以下の内容で講義していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 印象批評と文学史 2) 作者、テキスト、読者 3) 活字、音声、意味 4) 作品内世界（枠組と視点人物） 5) 語り手 6) 歴史的社会的な方法 7) 心理学的方法 8) フェミニズム 9) ディコンストラクション 10) カタルシス 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 日本文学史	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の文学は、その発生期から約千年くらい前に完成した源氏物語まで、短期間のうちに激しく変動を重ねながら、世界的に見ても高度な達成を得るに至りました。古代の人々の自然や人間に対するしなやかな感性、想像力の豊かさを知り、時代と共に個別化される人間の心理が、どう作品化されたか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><神語りから物語りへ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 古代歌謡（万葉集・古事記・風土記から） <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌謡とは何か ・ 集団の祭祀と性 2, 音声表現から文字（万葉仮名）表記へ 3, 日本の神話・・・『古事記』上巻をとりあげる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高天原系／出雲系神話の構想と、神話成立の背景 ・ 万物の生成・死と生の世界・言葉の力はどう語られるか ・ 異界の血と、王の誕生 4, 中国文化摂取の時代（九世紀） <ul style="list-style-type: none"> ・ 六朝、初唐詩の表現と古今集 ・ 中国『伝』の影響 5, 罪びとかぐや姫の誕生（平仮名の物語） <ul style="list-style-type: none"> ・ 口承説話の型からの脱皮 ・ 中国神仙伝（『漢武帝内伝』『妙女伝』など）と竹取物語 6, 書き手としての女性・・・古物語の否定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 『蜻蛉日記』－心理を描く 7, 『源氏物語』の達成・・・生きることの意味を求めて <ul style="list-style-type: none"> ・ 神話、古今集、竹取、蜻蛉、ほか の集大成 ・ 結婚を拒否する女たち、出家する女たち 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験により評価。</p>	

【授業科目】 小説の世界	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>明治～昭和の人たちは、ナニも「強いられて」小説を読んだワケではあるまい。 「オモシロイ!」から読んだのだ。……現代人が、テレビドラマを見るように。 その「面白さ」を発見することが、「小説研究」の本来の目的だ!</p>	
【テキスト】 教科書は使用しない。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p style="text-align: right;">文学は「知識」よりも「作品の味わい」が大切だ。 レストランで「メニュー」を覚えるよりも、実際に食べてみるのが良いし、 (食欲が無いなら)食べた人の話を聞いた方が、遙かに楽しい。</p> <p style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 20px 0;"> この講義では、実際の小説を、まず紹介＝解説しながら、 その「面白さ」を再発見し、その「魅力」を探ります。 ……それが実は、学問としての「文学研究」の、本来的目的だからです </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p>「紹介＝解説したい」小説の例 日本最大のメロドラマ……尾崎紅葉『金色夜叉』 、幻想世界の恋・異次元ロマンス……幸田露伴『土偶木偶』 死の美学か、偽装心中か……泉鏡花『外科室』『義血侠血』 「丑松」とは誰か……島崎藤村『破戒』 自分を見つめる乾いた視線……夏目漱石『吾輩は猫である』 なぜ、あんなに喋りまくるのか……同『坊っちゃん』 「三角関係小説」の最高傑作……同『それから』</p> </div>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 日本語表現法

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期

【授業目標】 人間はことばでものを考え、ことばで社会をつくり文化をつくれます。ですから、ことばによる表現は、人間にとって基本的な大切な活動だといえます。

この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本を学ぶことを目標にします。

【テキスト】 講義資料(プリント)を配布する。

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

授業は講義と実作(制作)を併用して進める。
講義の内容と制作のジャンルは下記を予定している。

I. 講義

1. ことばの機能
2. ことばと社会
3. 文章表現の基本
4. 文章の構造
5. 文章のスタイル

II. 制作

1. エッセー
 2. 評論
 3. 短詩(伝統詩のパロディーなど)
 4. コント(掌篇小説)
 5. 校正実習
- 「文集」の作製を予定している。

【評価方法】 授業への参加と作品の提出を重視する。
評価は参加の度合いと提出作品によるが、小テストを実施する場合もある。

【授業科目】 歴史の見方	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 過去の事実を見つめることにはどのような意味があるのだろうか。過去の世界にロマンを求めたり、過去から教訓的なものを引き出すために歴史はあるのだろうか。叙事詩や物語のように歴史を叙述し、記録として残すという営みが、どのような目的で始まったのかということも、このことと関係しているだろう。その上で、歴史の流れは進歩としてとらえられるのか、発展には法則性があるのかといったことも探してみたい。歴史に関する知識は特に必要としない。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>弓削達『歴史学入門』東大出版会、など多数あるので講義中にそのつど紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回テーマを設定して進めていく。大体次のようなテーマを考えている。</p> <p>△『史記』と『三国志』から何を学ぶか</p> <p>▲司馬遼太郎、池波正太郎、藤沢周平の世界と歴史事実</p> <p>△「認識されたものとしての歴史」について考える</p> <p>▲歴史の中の個人＝「自分史」のこころみ</p> <p>△史料とは何か、その科学的分析方法は</p> <p>▲時代を切り取り、その構造を見つめる</p> <p>△歴史は進歩、発展したか</p> <p>▲歴史に法則はあるか</p> <p>△歴史から何を学ぶか</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 古代の歴史（考古学を含む）	【担当者】 田中禎昭
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>古代人の「ライフサイクル」を中心に、古墳時代から奈良時代に至る日本古代史の具体的な把握を目指していく。</p>	
<p>【テキスト】 野田嶺志編『村のなかの古代史』（岩田書院、2000年3月） この他、授業時にプリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 すみだ郷土文化資料館編『隅田川の伝説と歴史』（東京堂出版、2000年6月）</p>	
授 業 計 画	
<p>今、日本古代史の研究は、新たな局面を迎えています。それは、近年の考古学の飛躍的な発展によって、日本古代史を復原する時に用いる史料が非常に多面的になってきたことに一因があります。たとえば、発掘により、都だけでなく、各地方の役所跡や村の跡などから木簡（文字を墨で書いた木の札）や墨書土器（文字を墨で書いた土器）が多数出土して、従来使われてきた「日本書紀」「古事記」や「正倉院文書」などの文献史料では分からなかった、古代の地方に生活する人々の暮らしぶりが具体的に描き出せるようになってきたのです。古代の村人たちは、何を食べ、何を着、どんな所に住み、どんな神を祀っていたのか？豪族と庶民の身分の差は、何によって表現されていたのか？古代の村の掟はどのように決められ、それは、中央政府が決めた「律令」とどんな関係があったのか？そもそも中央政府の命令や情報は、どのようにして地方の人々に伝えられたのか？古代の戦争と軍隊とはどんなものであり、古代の兵士とその家族はどう暮らしていたのだろうか？人々の生・老・病・死のライフサイクル、また、女性と男性の役割分担、恋愛と婚姻などなど、私たちが知りたいと思っている古代社会の「具体的なあり様」は、今、新たな史料の出現と分析によってようやく解明されようとしているのです。</p> <p>そこで、今年度の講義では、古墳時代から奈良時代までの時期の日本古代を対象に、次のようなテーマを軸にして、古代史の具体的な把握を目指していきたいと考えています。特に今回は、古代の「地域」と「ライフサイクル」に力点を置きます。</p> <p>一・古代史の新しい史料・木簡や墨書土器が語るもの 二・古代人のライフサイクル(①誕生・子ども ②若者・壮年 ③老年 ④病氣と健康の古代的意味) 三・恋愛と婚姻の古代史 四・死の古代史 五・政治の拠点 (①都城 ②国衙 ③郡衙 ④村落官衙) 六・村の情報伝達 七・戦争と軍隊 八・古代地域史の復原方法—伝説と歴史の間</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験、読書レポートの成績と出席点を総合して評価する。</p>	

【授業科目】 史料で読む歴史	【担当者】 西脇 康
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文献史料を中心としつつも、道具・絵画・建築・伝承など広い資料を対象として、江戸期の時代像を科学的に復元する手法を学び、みずからも体験する。 ・ 貨幣をキーワードとして、江戸期の生活と文化のありさまにつき、さまざまな角度から接近する。 	
<p>【テキスト】 瀧澤武雄・西脇康編著『日本史小百科 貨幣』（東京堂出版、B6判、364頁、¥2500円）を必ず購入し持参すること。講読する史料は無償で配布する。</p>	
<p>【参考書】 授業中に、必要に応じて指摘する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>講座名称 「貨幣から見た江戸期の人間模様」</p> <p>貨幣の現物を実際に見て、手にとって、その感触をもとに、江戸期にタイムスリップするような授業にしたい。OHP やビデオによって、ビジュアルな素材を提供する。要望があれば、有志で巡見・見学会を企画する。</p> <p>授業形態 講義と演習の折衷型……参加者の希望に応じて柔軟に対応</p> <p>内 容 はじめに……日本の産金と黄金の魅惑、昔話に見る黄金観</p> <p style="text-align: center;">—ここ掘れワンワン、大判・小判がザックザク—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大判・小判、丁銀・小玉銀、穴銭の誕生……発生と形・色・装飾の謎 2 貨幣単位と通用慣行……三貨制度、九六銭、数字の魔力、極印・墨判 3 貨幣の技術……絵巻から見た製造工程、金色を出す技術、千両箱 4 貨幣の贈答儀礼……なぜ包むのか、歌舞伎『冥土の飛脚』の封印切り、将軍家・禁裏への献上から一般的祝儀まで 5 町人文化と習俗……銭洗い弁天、銭まき、大吉・七福小判、ムカデ小判 6 貨幣の尺度と時代的価値……給金、手間賃、寸志、結納金から手切れ金 7 復元—小判の価値……千両役者、十両関取、所得水準で比較した生活感覚 8 貨幣をめぐる人間模様……男と女の示談金 9 文学・川柳から見た貨幣観……花柳界、拝金主義、人生訓 10 貨幣学をはじめた人々……恐るべきコレクター、錬金術と鑑定学 <p>追 記 TV「その時歴史が動いた」「お江戸でござる」「なんでも鑑定団」などのファンであれば、この講座で知的興味は一定程度満足させられるだろう。知的好奇心が旺盛で自由な発想ができるビギナーや、高校で日本史を敬遠していた人が、江戸時代を好きになるような授業構成をいっしょに考えていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点は3割、授業期間中に実施するペーパーテストは7割。テストで合格しなかった人、好成績を残したい人は、任意で学年末レポートも提出できる。</p>	

【授業科目】 日本文化論	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文化とは Culture の訳語であり、その原義は“耕す”という意味である。古代から、人間は自然を耕すことによってさまざまな文化を創りあげ、それを伝承してきている。その軌跡を探りながら文化の特徴を探究する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>各種文化関係書（その都度指示する）</p>	
授 業 計 画	
<p>文化とは何かを命題にし、文化の基本から説き明かして芸術分野に高められてゆく過程に焦点をあて、その内容を把握するとともに、とくに東西文化の特徴を比較することによって、文化に対する認識を深める。</p> <p>各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化とは何か 2. 人類の発祥と文化の発生 3. 日本の古代の文化 4. 火と水の文化 5. 石と木の文化 6. 狩猟と農耕と海洋の文化 7. “じとば”の文化 8. 東洋文化と西洋文化 9. 日本文化論 	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 期末レポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点</p> <p>} 左記3項による総合評価</p>	

資格科目
情報科目（1年）

【授業科目】 情報検索演習	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ネットワークの出現により、新しいライフスタイルやビジネススタイルが出現し、情報の検索も進み、コンピュータ資源の共有や専有によるウェブイヤーの成果が期待されるようになってきた、そこで情報化社会の素養としてのネットワークの活用の基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「授業計画」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マルチメディアによる新しいライフスタイル 2. Netscape Navigator の基本操作 3. インターネットについて (その入り方、使い方、世界旅行へ、手紙) 4. 情報検索サービスへのアクセス (1) 5. 情報検索サービスへのアクセス (2) 6. ネチケットとインターネットの明日 7. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 情報機器論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>コンピュータに関係した技術は進歩が早く、それにもなつて次々と新しい製品が出現する。それはハードにしてもソフトにしても同じことである。そこで本講義は、新しいライフスタイルやビジネススタイル視点から、特に私たちの生活との関わりからみたコンピュータのハードとその活用についてわかりやすく解説をするつもりである。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>「授業計画」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通信（新しい通信インフラ） 2. 家庭生活（電子新聞、ホームショッピングなど） 3. ワークスタイル（在宅勤務、電子取引・決済など） 4. 行政（電子申告・申請、免許書の更新） 5. 医療（通院の減少、遠隔医療） 6. 広告と流通 7. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

資格科目
博物館科目（1年）

【授業科目】 博物館学	【担当者】 柘植信行
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や地域の文化にどのような関わりをもっているのでしょうか。ますます多様化するとともに、新たな役割が期待される博物館の現状を学びます。博物館の楽しさを発見し、その仕事や学芸員の役割などについて考えていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義に必要な資料は、適時配付します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>博物館学シリーズ1『博物館概論』（樹村房）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>“博物館”でどんなところ。</p> <p>身近になった博物館－地域博物館の現状－</p> <p>博物館いろいろ</p> <p>都市型水族館、野外へ出る美術館、体験・体感の科学館</p> <p>歴史と対話する博物館、平和を訴える博物館、テーマパークと博物館</p> <p>町ぐるみ博物館、エコミュージアム・・・・・・・・</p> <p>博物館は生涯学習の舞台</p> <p>博物館の法律</p> <p>博物館のできるまで</p> <p>博物館の施設と運営</p> <p>学芸員の仕事</p> <p>博物館ボランティアの活躍</p> <p>“博物館資料”発見</p> <p>展示は博物館の顔</p> <p>特別展に挑戦</p> <p>博物館でインターネット</p> <p>博物館へいこう</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート、博物館見学感想文</p>	

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 上野光子 ・ 平賀明彦
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学芸員として実際の場に臨む場合に必要な心構えと、基礎となる知識・技術の修得を目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配付します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』ほか。</p>	
授 業 計 画	
<p>広範に渡る学芸員の仕事の中から人文科学系にしぼり、下記の項目にそって、講義1実習3を目安に授業を進めてゆく。見学によりなるべく多くの実例を学び、同時に作品に対するより深い理解とマナーも身につけます。2年次には実際に博物館施設において実務実習を行います。</p> <p>(1) オリエンテーション：博物館実習とは、授業計画、博物館法</p> <p>(2) 学芸員の仕事と現状、実習と図書、博物館の広報活動</p> <p>(3) 博物館施設の実際：国立博物館等の見学2回、事前事後講義、レポート提出</p> <p>(4) 資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2次資料とは ・ 拓本：タンポ・墨作り、屋外拓本 ・ 裏打：くいざき、作図方法 ・ レプリカ作成 <p>(5) 展示と保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示環境 ・ 劣化と保存科学 ・ 展示施設と方法 ・ カタログ、作品解説 <p>(6) 梱包と運搬</p> <p>(7) 美術工芸品の取り扱い方と種類・技法</p> <p style="padding-left: 2em;">掛軸、卷子、折本、冊子、屏風、面、金工品、漆芸品、陶磁器、彫刻、茶道具等</p> <p>(8) 写真の基礎知識</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>(1)レポート、(2)作品、(3)平常点、(4)出席数、(5)館務実習評価、の総合点。</p>	

【授業科目】 教育学概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 現代の日本の学校教育では、受験競争、いじめ、などさまざまな問題が生じている。それらは改めて「教育とは何か?」「学校とは?」「教師のあり方は?」という根本的な問いを投げかけている。多くの国民が学校体験を有する現在、これらの問いに対する答えもさまざまな立場から論じられている。だがそれらは、必ずしも教育的なものの見方、考え方にもとづいたものではなく、ときには教育的であることそのものへの懐疑を表明している場合もある。</p> <p>こうした状況をふまえ、この講義では、現代的な問題を取りあげながら、教育的なものの見方、考え方の基礎を学ぶことにする。</p>	
<p>【テキスト】 特に使用しない。</p>	
<p>【参考書】 教育科学研究会編『いじめ自殺－6つの事件と子ども・学校のいま－』国土社 E・フロム『人生と愛』紀伊ノ国屋書店、J・J・ルソー『エミール』岩波文庫</p>	
授 業 計 画	
<p>具体的な教育問題として「いじめ」の問題を取りあげ、また、教育的な考え方の一例として、J・J・ルソーの生涯と教育論『エミール』の紹介をおこない、近代教育思想の原点をたずねたい。</p> <p>講義の大意は、以下の内容などを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の教育と「いじめ」 2. 社会制度と人間の心理 3. 近代教育思想の原点をたずねて <p>講義形式の授業であるが、できるだけ学生のみなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。</p> <p>上記に示したような資料の他、使用した資料などについては、随時時間内に指示する。</p>	
<p>【評価方法】 出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者ととも生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 特になし。</p>	
<p>【参考書】 教育科学研究会・社会教育推進全国協議会編『教育、地方分権でどうなる』国土社</p>	
授 業 計 画	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p> a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p> b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p> a) 教育基本法の理念と生涯学習</p> <p> b) 生涯学習の機会と制度</p> <p> c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】 評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での簡単なレポートを参考に する。</p>	

資格科目
司書科目（1年）

【授業科目】 図書館概論

【担当者】 石田栄美

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

図書館についての基本的ことから学び、基礎的知識を身に付ける。
これを通じて、図書館の在り方、その将来について考える。

【テキスト】

使用しない。

【参考書】

授 業 計 画

- 1 図書館の意義
 - ・ 図書館の定義
 - ・ 図書館の意義
 - ・ 図書館と社会
- 2 図書館の機能
- 3 図書館の構成要素
 - ・ 図書館資料
 - ・ 図書館職員
 - ・ 図書館施設
 - ・ 図書館利用者
- 4 図書館の種類
 - ・ 国立図書館
 - ・ 公共図書館
 - ・ 大学図書館
 - ・ 学校図書館
 - ・ 専門図書館
 - ・ その他の図書館
 - ・ 図書館類級機関
- 5 図書館の展望

【評価方法】

授業参加度による平常点・テストの総合判定

【授業科目】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『図書館・情報センターの経営』（けい草書房 情報学シリーズ4）</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の基本理念 2. 新しい生涯学習の提起 <p>(2) 図書館をとりまく社会の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の図書館 2. 図書館の新しい時代—60年代後半から70年代 3. 図書館の発展途上に現れた80年代以降の重大な変化 —子ども・若者の図書館離れと要求の変化 <p>(3) 情報化時代の図書館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の遊びと図書館 2. ヤングアダルトへの対応 3. 主婦層への対応 4. 映像・音響文化の提供 5. 施設・設備のありかた <p>(4) アメリカの図書館運営の特徴と日本の図書館運営の問題点</p> <p>(5) 白梅学園短大図書館の歩みから—運営とサービス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館を構成する3要素の1つである図書館資料について、資料の種類、資料収集と出版流通、選書とコレクション評価などについて概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>平野英俊ほか著 『図書館資料論』（新・図書館学シリーズ7） 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>河井弘志編著 『新図書館資料論』（現代図書館学講座2） 東京書籍 馬場俊明編著 『図書館資料論』（JLA 図書館学テキストシリーズ7） JLA</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とはなにか 図書館資料の種類と特徴 印刷資料——図書、逐次刊行物など 非印刷資料——視聴覚資料、マイクロ資料、電子資料など コレクション構築 資料の選択（選書） 資料収集 コレクション評価・再編 図書館資料の収集をめぐる諸問題 出版流通 関連法規 図書館協力 収集・提供と「図書館の自由」</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、レポート</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館では、利用者が図書館資料を速やかにかつ適確に探し出せるように、個々の資料を一定の基準に基づいて組織化している。本講義では、図書館資料の組織法としての目録法、分類法、書誌コントロールについて説明する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>大城善盛ほか著 『資料組織概説』（新・図書館学シリーズ9） 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>『日本目録規則 1987年版改訂版』 『日本十進分類法 新訂9版』 『国立国会図書館件名標目表 第5版』 『基本件名標目表 第3版』</p>	
授 業 計 画	
<p>資料組織法とは ——資料組織の意義と機能</p> <p>資料目録法</p> <p>目録の目的と機能</p> <p>目録規則——『日本目録規則 1987年版改訂版』を中心に</p> <p>資料分類法</p> <p>分類の理論（分類とは、分類の原則、図書館における分類法）</p> <p>各種分類法について——『日本十進分類法 新訂9版』ほか</p> <p>件名目録法（件名標目）</p> <p>件名目録とは</p> <p>件名標目表について——『国立国会図書館件名標目表 第5版』 『基本件名標目表 第3版』ほか</p> <p>図書館目録と書誌ユーティリティ</p> <p>MARC</p> <p>目録データの標準化と分担目録</p> <p>図書館システム化、書誌ユーティリティ、図書館ネットワーク</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、テスト、レポート</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「資料組織概説」の講義と関連付け、各種基準（目録規則、分類法、件名標目表）の理解を深めるため、これらの基準を用いて実際に資料の分類、目録データ作成を行う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岡田靖ほか著 『資料組織演習』（新・図書館学シリーズ10） 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>資料目録法 『日本目録規則 1987年版改訂版』の各規則の説明 目録データ作成の演習</p> <p>資料分類法 『日本十進分類法 新訂9版』を用いて資料分類の演習</p> <p>件名目録法 『国立国会図書館件名標目表 第5版』と『基本件名標目表 第3版』を用いて主題分析と件名付与の演習</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、課題提出</p>	

【授業科目】 児童サービス論	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1年 前期 (集中)	
<p>【授業目標】人生の人格形成期において、児童はその基盤をなす重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためにはどんな書籍をどのように読ませていけばよいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間・場所のため、館内におけるサービス・テクニックにはふれない。</p>	
【テキスト】講義資料を冊子布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の言語活動 2. 「読む」ことの意義 3. 少年少女期の特性と読書傾向 4. 児童図書としての良書とは何か。 5. 読書指導と選書の方法 6. 児童図書の実状 	
【評価方法】筆記試験(ノト・講義資料参照可)	

特別選択科目（1年）

【授業科目名】 時事・社会特講	【担当者】 小林 洋子、市原 祐則、今井 博
-----------------	------------------------

【開講期】 1年 前期

<p>【授業目標】</p> <p>自立し社会参加するためには、社会や職業に関する正確な知識と他者とのコミュニケーション能力が必要である。この授業では、オムニバス形式で次の内容を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会人、企業人として求められている人材を知り自己啓発していく方法を学ぶ。 2 日本経済の現状、産業界、会社選び経営の概略などについて基礎的な知識を修得、就職活動、会社選びに対応できる能力を身に付けることを目標とする。 3 マスメディア、特に新聞報道の実態を探り、新聞を読み、ニュースを追う楽しさを知ってもらう。具体的にホットなニュースをとりあげて解説する。
--

<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布する。</p>

<p>【参考書】</p> <p>就職活動のための「やさしい会社入門」 市原 祐則著 日経事業出版社</p>

授 業 計 画

<ol style="list-style-type: none"> 1、担当：小林 洋子 <ol style="list-style-type: none"> ① 学生と社会人の違いを認識し、社会人の行動や責任について学習する。企業の組織とチームワークが仕事を進める上で重要なことを理解する。職業の選択と、企業側就職担当者の視点について知る。 ② 社会人としてのコミュニケーションの基本を修得する。交流分析によるエゴグラムで自画像を知り、自己改善への気づきにする。 ③ 人の印象をつくり出すものを考察し、さわやかな自己表現に結びつける。言語的、非言語的メッセージの読み方、伝え方を学ぶ ④ 対話の基本である傾聴の技術を身につけ、対面コミュニケーションの実習をする。交流分析のストローク理論を理解し勇気づけの実践をする。 2、担当：市原 祐則 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本経済の現状 ② 産業別の好・不況 ③ 好況会社と不況にあえぐ会社 ④ 社会人として働くことの意義、自立の心構え、採用計画への対応など 3、担当：今井 博 <ol style="list-style-type: none"> ① 新聞はどのようにつくられるのか。一人前の新聞記者はどのように育つのか。ニュースが集まり、締め切りをむかえてその日の新聞が出来上がるまでを説明する。 ② 新聞は同じではない。全国紙が日々取り上げるニュースは大同小異だが、その報道姿勢は微妙に違う。実際のニュース報道にそくしてその違いを解説する。 ③ 国際報道における各メディアの姿勢の違いを検証する。特に隣国であるロシアについての報道姿勢を旧ソ連時代から点検する。各紙の違いを浮き彫りにする。 4、全体での討論とまとめ
--

<p>【評価方法】</p> <p>1、授業中のレポート 2、出席状況・小レポート60%、期末レポート40% 3、筆記試験</p>
--

【授業科目】 労働・健康特講	【担当者】 木元 稔
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会に参加するために必要な労働に関する就労や経済金融、心身の健康に関する社会参加や余暇・健康増進・福祉・生きがいづくりなどの幅広い知識を学ぶ。</p> <p>また福祉援助学科に必要な科目を修める者は、中高年齢者の生きがいづくりに関してコンピューターを駆使して情報提供する「生きがい情報士」の資格取得を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>生きがい情報士養成テキスト1（基礎知識・事例編）、および2（技術編）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と生きがい（現代社会と中高年、中高年と健康生きがいづくり） 2. 社会参加（社会参加、ボランティア活動、ボランティアアドバイザー） 3. 就 労（高齢者の雇用をめぐる現状、企業の中高年対策） 4. 健康づくり（中高年の心身の特性、健康増進と生活習慣病予防） 5. 余 暇（中高年と余暇、生涯学習社会と余暇生活） 6. 経済金融相談（ファイナンシャルプランニング、税金、年金） 7. 健康相談（食生活、運動と休養、喫煙・飲酒、生活習慣病） 8. 福祉相談（福祉ニーズと福祉相談、介護保険のしくみ） 9. 相談援助技術（自己覚知の技術、社会資源活用技術） 10. 集団参加援助技術（集団参加援助技術の基礎知識と展開方法） 11. 地域参加援助技術（生きがい活動の情報把握、地域参加の援助活動） 12. 調査広報技術（ニーズ把握の技法、広報の技術と広報紙の作り方） 13. イベント技術（よきイベントの組み立て方、イベントの留意点） 14. ライフプラン技術（ライフプラン作成上の基礎知識と具体的技術） 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

<p>【 授業科目名 】 家庭介護総論</p>	<p>【担当者】 中山幸代、明渡陽子、八木紘一郎 佐野英司、秋山治子</p>
<p>【開講期】 1年 前期</p>	
<p>【授業目標】 福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス(対面的対人援助サービス)に必要な技術、特に家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には、高齢者・障害者の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し、家族を含めた相談援助も含まれる。 この授業では、これら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が習得できるように講義を進める。この授業と、「家庭介護演習」「家庭介護実習」を習得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉理念とケアサービスの意義 2. サービス提供の基本視点 3. 老人福祉の制度とサービス 4. 障害者(児)福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障害・疾病の理解 (1) 8. 高齢者・障害者(児)の心理 9. 障害・疾病の理解 (2) 10. 高齢者・障害者(児)等の家族の理解 11. 介護概論 12. 相談援助とケア計画の方法 13. 医学の基礎知識 14. 在宅看護の基礎知識 15. 住宅・福祉用具に関する知識 16. 共感的理解と基本的態度の形成 17. リハビリテーション医療の基礎知識 	
<p>【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する</p>	

【 授業科目名 】 家 庭 介 護 演 習	【担当者】 関谷栄子 大槻恵子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面的対人援助技術）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を実際に学ぶ。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。	
授 業 計 画	
基礎介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴等の生活の介護 ・ 肢体不自由者の移動の介助 ・ 視覚障害者の歩行介助 ・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備 ・ 緊急時の対応 ・ 援助者の健康管理 	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する。	

【 授業科目名 】 家 庭 介 護 実 習	【担当者】 西方規恵、吉沼孝子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面敵対人援助）に必要な技術を介護施設及び在宅介護の現場で実習する。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を習得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。	
授 業 計 画	
施設等における実技実習の内容 1. 施設介護の現場実習 2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者の家庭における在宅介護の同行訪問見学実習 3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する。	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ビデオを使った会話の聞き取りを中心にして、英語の運用能力を向上させていくことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 Daily English (KINSEIDO)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>中・高6年間にわたって学習してきた英語も、いざとなると簡単な会話も、そう難しくもない文章の解釈も思うにまかせないと、相当多くの方が感じているだろうと思う。</p> <p>そこでこのクラスでは、いろいろな場面での会話をビデオを通して聞き取る練習をしていきたい。こうした練習を重ねることで、必要な表現を覚えることが出来ると思うし、また、実際に使ってみて身につけて頂きたいと思っている。ペア・ワーク、グループ・ワークなども取り入れ、楽しく、活発にやっていきたいと思っているので、予習・宿題などをきちんとして授業に備えて頂きたい。</p> <p>時々、皆さんの関心を引くような文章を比較的速く読む練習もしたいと思っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>聞き取りとそれを生かした読み解きを中心に、総合的な英語能力の向上をめざす。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して、映画のシーケンスにおける会話の成立について学ぶ。</p> <p>平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱー1、2英語	【担当者】 及川 学
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>短文の英訳と和訳を通して留学、旅行に役立つ表現を身につけていく。読解力は随時プリントで補う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>海外留学・旅行表現英作文（南雲堂）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>第1週:授業の進め方の説明</p> <p>第2~3週:1課、2課</p> <p>第4~5週:3課、4課</p> <p>第6~7週:5課、6課</p> <p>第8~9週:7課、8課</p> <p>第10~11週:9課、10課</p> <p>第12~13週:11課、12課</p> <p>第14~15週:13課、14課</p> <p>第16~17週:15課、16課</p> <p>第18~19週:17課、18課</p> <p>第20~21週:19課、20課</p> <p>第22~23週:21課、22課</p> <p>第24~25週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第26~27週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第28~29週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第30週:リスニング実戦テスト、リーディングまとめ</p>	
<p>【評価方法】 前期、後期の試験、数回のレポート、単語ノートの提出をしてもらい総合的に評価する。</p> <p>授業への出席重視。私語、携帯電話、ガムを噛むなどの行為は一切禁止する。はなはだしい場合には退室してもらい、単位も認めない。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 英語	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>4年制大学の編入試験に対応できる能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>4年制大学への編入試験は、専攻する科目の試験、小論文、面接などに加えて英語の試験が課せられる場合がある。他はうまくいったけれど英語が障壁になった、という事態を招かないよう準備をしなければならない。</p> <p>試験は、大学によって入学試験とまったく変わらない出題の仕方をするところもあるが、おもに総合的な読解問題である。長い文章を読みとけるよう基本的な文法をおさらいし、一定量の文章を、訳さず全体の内容を理解できるように訓練する。</p> <p>英語が苦手な人も、努力と訓練如何でしっかり読めるようになるということを実感していただく。目標を達成するために意欲を持って授業に望んでいただきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を復習しながら、簡単な会話と文法、表現の仕方などを発展させる。 2. 現代ドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 	
【テキスト】 <p style="text-align: center;">テキスト・参考書については開講時に説明する。</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
[授業計画] <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現――ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話――会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解――基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解――スライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解――辞書を使って、やさしいドイツ語の童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。 [授業方法] <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 3. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 4. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動をして、ドイツの対しての正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、充実した学習ができるようにする。 	
【評価方法】 <p style="text-align: center;">学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>《Le Petit Prince》（星の王子さま）を1年かけて原文で読んでみましょう。フランスの名作童話をじっくりと味わいたいものです。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《Le Petit Prince》 Saint-Exupéry</p>	
<p>【参考書】</p> <p>辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>◇教材はフランスから取り寄せます。『星の王子さま』のビデオも用意してありますし、作家サン・テグジュペリの一生などもビデオを見ながら学びましょう。</p> <p>◇フランスの名画も鑑賞しましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>一年次の学習の上に立ち、『源氏物語』第二部（若菜上～幻）までを扱う。六条院態勢の内部崩壊という主題に関わって、物語の方法は大きく変わる。</p> <p>六条院はなぜ崩壊するのか。どう崩壊していくのか。紫の上の心理の解明を計りつつ、仕組まれた物語の方法について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>日本古典文学全集『源氏物語』4（小学館）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 物語の舞台設定は、二条院・二条東院から六条院へと拡大する。この二つの場の距離が、第二部の構想を支えることになる。先行論文により場の問題を考えることから始めたい。 2, 五月、京都への研修旅行。源氏物語の舞台となったところを実地にまわり、〈土地勘〉を養う。事前準備が重要。 3, きわめて読みにくい所であるが、「若菜上」を取り上げる。六条院体制の崩壊の仕組みをとらえたい。 4, 授業を越えて、「若菜下」まで目を通すことが課題となる。 <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 第二部最後の「幻巻」を読む。退場直前の老いた源氏の目に映るものは何か。これを批判的に検討することで研究のまとめをしていきたい。 2, 卒業研究と併せて、検討を深めたい。 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 前期・後期	
【授業目標】 昨年度のゼミを継承する。ただし、当初、学外研修にかかわる学習と研究を行う。 次いで、昨年度残した課題をとりあげる。	
【テキスト】 資料プリント等配布	
【参考書】 適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>1. 学外研修準備</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準備うちあわせ (2) 資料収集 (3) 資料検討ほか <p>2. 研究課題 —— 浦島伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現代の絵本と明治の絵本 (2) 近世の絵草子 (3) 御伽草子 (4) 風土記 (5) 万葉集 (6) 沖縄の神婚説話 	
【評価方法】 提出レポートによる。ただし、ゼミテストを実施する場合もある。	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">————— 2年次の目標</p> <p>1年次に養った「文学の魅力を深く味わえる能力」を基礎に、 いよいよ、<u>学問としての 文学研究の方法</u> を身につけ、 「もう一つの別世界=作品世界」の秘密を探る。 また、「時代の中での作家」の問題も考える。</p>	
<p>【テキスト】 「教科書」は用いない。 ゼミの進行にあわせて、順次、指定された本（安価な文庫本）を購入する必要がある。</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">必要に応じ、演習中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">諸君が卒業論文で取り上げる作品を中心に、 専門家の書いた研究論文も含めて学びつつ、 文学研究の方法上の問題 について、より深く考え、身につける。</p> <p style="text-align: center;">作品世界の内部構造を探る「作品研究」を中心に進めるが、 （時間的に可能ならば）「作家研究」にも挑んでもらう。</p> <p style="text-align: center;">「文学研究」には、学問としての厳密さと客観性が必要である。 しかし、文学研究の基礎が、あくまでも 「自分の自由なイマジネーション」 であることを忘れないこと。 なぜなら、 文学研究の「研究対象」自体が、 「紙に書かれた字の集まり」ではなく、 われわれ読者、一人一人の中に浮かぶ、 「それぞれのイメージ世界」 だからである。 「この現実」とは別の「もう一つの別世界」を研究することは、 我々が厳しい現実の中で生きて行くうえで、極めて大きな力 になる。 「別世界を知っている」ということは、自らを囲む狭い「現実」を、 相対化しながら見る「足場」を持つことだからである。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点を主に、筆記試験（ノート、書物等、<u>何でも参照可</u>）を加味する。 ゼミに<u>真面目</u>に参加し、<u>努力して読み続ければ</u>、大丈夫、「A」は確実！</p> <p style="text-align: center;">ダラダラ怠けてしまえば、結果は悲惨！</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>2年生になるとまもなく就職活動をはじめ、やがて社会人として就職していく学生たちに、経済的自立の重要性と、女性の職場での問題を考えさせ、問題解決への方向性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中で資料を配布し、適宜参考文献を紹介する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>前年度に引き続き、現代女性の抱えている諸問題について考察するが、2年次では学生自身の将来設計における就労の位置付けを明確にするため、特に「女性と職業」に重点をおいて学習をすすめる。なお職場における女性の状況を認識し問題解決の方法を探るために、調査や見学なども行う予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの出席・学習状況、報告・発表内容、レポートなどの総合評価</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>本格的に歴史を学ぶ 前期は、1年次の蓄積を生かし、より高度な専門書に取り組む。その一方で自らのテーマの設定に向けて問題関心を整理していく。後期では、卒業研究を執筆するために個々のテーマを深く掘り下げることが目標となる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>メンバーと相談して決める</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じてその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>メンバーそれぞれが自分の問題関心を絞り、それにそって関係する文献を読み報告する形をとりたい</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>分担した報告と時々的小レポートで評価する</p>	

【授業科目】 教養演習Ⅱ	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次からのそれぞれの作品研究を続け発展させる。 2. 英米児童文学史を1年次とは別の角度から学んで、立体的に理解する。 3. 各自のテーマ研究を深めるための文献研究を進めていく。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>神宮輝夫監訳「オックスフォード世界児童文学百科」原書房 定松正「英米児童文学の系譜」こびあん書房 百々佑利子「児童文学を英語で読む」岩波ジュニア新書 タウンゼント「英米児童文学の歴史」岩波書店</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 英米児童文学史と評論を読んで自分の研究の位置を把握していく。 2. ゼミ旅行などを利用して先人達の研究方法を学んだり、卒業研究のための資料収集を行う。 3. 各自の進行状況をゼミで発表し、ゼミ全体でお互いから学びあっていくために討論を続ける。 4. 夏休みに各自の取り上げた作品についてのレポートを15枚以上を書いて、卒業レポートの構成をまとめていく。 5. 英米児童文学史を学んで、各自の作品の生まれた社会背景や歴史的な意義などについても研究して幅広い理解ができるようにする。 6. インターネット等を使って外国の図書館や研究期間から資料を検索して利用する。 7. 卒業レポートの個人指導と並行しながら、ゼミでの中間報告を行い批評しあって研究を深める。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行う。</p>	

【授業科目】 教養演習II	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英米文学の主要な作品を読み、イギリス、アメリカの文化的支柱を探ると同時に、小説の読み方を学ぶ。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1年次に学習したことを基礎として、2年次では、アメリカの自然主義作家セオドア・ドライサーをいろいろな角度から分析してみよう。まずはドライサーの人生を、みんなで調べていく。写真などを見ながら、文学作品の元となった風土をイメージ化していこう。次には実際に作品を読んでみる。全員が読んでくるのは当然であるが、毎回、報告者を決めて問題点を指摘してもらおう。そして討論。文学作品は、読む人が違えば解釈も異なる。正解なんてないのだ。恥ずかしがらずに自分の意見をぶつけ合おう。そこに文学の面白さがあるはず。作品はドライサーの第一作『シスター・キャリー』（岩波文庫全二巻）を取り上げる。作品が読み終わったら、まずはレポートを書いてもらい、そのレポートをもとに再び討論を行おう。その後、『シスター・キャリー』について書かれた論文を読んで、文学作品の奥行きがいかに深いかを見ていこう。論文を読む作業は、卒業研究を書く手助けにもなってくれるはず。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートに平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 卒業研究	【担当者】 専任教員
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的に研究テーマを決めて、研究レポートを作成する（ただし、共同研究も可）。所属ゼミでの学習を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先立ちガイダンスを行い、研究の意義や叙述のしかたなど、一般的な事柄について指導する。ゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など、具体的に個別指導を行う。</p> <p>個別面談や中間発表会などで検討を加えながら、400字30枚以上のレポートにまとめていく。レポート提出後、例年、教養科全体の発表会を行っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。レポートについての面接を行うゼミもある。</p>	

【授業科目】 英会話II	【担当者】 ライラ・コルースイ
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常英会話と基本文法をマスターすること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>フリート</p>	
<p>【参考書】</p> <p>英和 和英 辞典</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. I'd Like to talk about —— . (3-minute talk) 2. Conversation Exercise 3. Grammar Exercise 4. Idioms 5. Translation 6. Listening & Discussion 	
<p>【評価方法】</p> <p>① 回 目 の レ ベ ル チェックテストと15回目の期末テストの進歩 度合 ② 出席率 ③ 宿題 ④ 参加</p>	

【授業科目】 時事英語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、福祉、平和問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21世紀社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて、英語を理解する力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>[テキスト・参考書]</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような練習を行い、重要表現を習得して、音声による表現力をつける。 2. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができるような文章の内容理解の方法を学ぶ。 3. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、福祉、平和問題などを取りあげた英語教材を用いて、広い視野で学び、世界の多くの文化や歴史的背景を理解し、将来世界の様々な分野で活動するための基礎的な教養を身につけられる英語学習にする。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答やレポートおよびテストなど総合的に 行う。</p>	

【授業科目】 ビジネス英語	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】 1. 社会や経済についてのニュースを読みとる 2. ビジネスに必要な表現を学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】	
授 業 計 画	
1. 新聞やビデオによって、ビジネスに関連した英語を読んだり聞いたりする。 2. テーマを決めて自分の意見を英語でまとめる。 3. 必要に応じて実際に英語で演じる場面を設定する。 *日本のビジネスの世界には様々な英語が入り込み、英語を知らないと仕事が理解できないという分野も多くなっているため、世界の情勢を読みとりながら具体的な表現も学びたい。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 英米の歴史	【担当者】 太田典子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカ合衆国のマイノリティの歴史を学び、その文化・社会の特色や抱える問題を理解することをねらいとする。また、合衆国の基本理念ともいえる「自由」と「平等」がどのように実現されてきたのか考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>紀平英作編『アメリカ史』（山川出版、1999年）</p>	
授 業 計 画	
<p>まず、マイノリティの歴史上重要な影響を与えた 1950~60 年代の公民権運動を概観した後、アフリカ系アメリカ人、先住民、女性の歴史を「自由」と「平等」への闘いという視点から考察していきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点と期末試験の総合評価</p>	

【授業科目】 インターネットの英語	【担当者】 衣川清子
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 インターネットのメディアとしての画期的な点はインタラクティブ（双方向的）ということである。無限の情報を受け取ることができると同時に、自分からも世界に向かって自己表現し、情報発信できる。従ってこの授業では、事実上インターネットの共通語である英語について学ぶだけでなく、その英語を使って自分のホームページを作り、インターネットの世界に参加することを目標としたい。	
【テキスト】 なし（プリント使用）	
----- 【参考書】 必要に応じて授業中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>インターネット及びインターネットの英語の基礎知識をまず学び、Eメールの使い方をマスターし、最終的には自分の英語のホームページを作る「ホームページ制作プロジェクト」に取り組むが、受講者のインターネット・スキル、興味・関心に応じてフレキシブルに授業を進める予定。</p> <p>扱うトピック（予定）は、①インターネットおよびインターネットの英語の基礎知識；②ホームページの閲覧、サーチエンジン（検索機能）の使い方；③Eメールの基礎知識（メールの読み書き、送信）；④Reading for information（速読によって重要な事項を効率的に読み取る）；⑤ワープロソフト（マイクロソフトワード）の使い方；⑥ホームページ制作（HTML タグの基礎知識）；⑦ネチケット（ネット・エチケット）</p> <p>*学校から与えられるEメールアドレスを使い、毎週担当教員に英語のメールを送ること。 *コンピュータやインターネットの初心者でもOKだが、キーボードでタイプする機会が多いので、日常的にタイピング練習をし、ブラインド・タッチ（キーボードを見ずにタイプできること）ができるようにすること。 *詳しくは、学内ホームページにある衣川のページを参照してください。</p>	
【評価方法】 平常点評価。毎週担当教員にEメールを送ることと最終授業時までに自分のホームページを作ることが単位修得条件。	

【授業科目】異文化コミュニケーション	【担当者】瀧口 優
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 *外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】 詩歌の鑑賞	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の詩歌について、その抒情の特質について考える。 特に「女歌」の流れを、近現代の短歌・詩を見ることで、女性と文学の関係性について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリントによる。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>ジェンダー（社会文化的な男女の性差）が論じられるようになって、詩歌の世界でも、あらためて表現と性差の問題が、「女歌」論としてクローズアップされるようになった。</p> <p>この講義では、まず、近・現代の詩歌をとりあげ、恋愛・性・家・家族・産む育てる、ことがどのように詠われてきたかを見たい。</p> <p>*「女性」性、「母性」性は、どう捉えられていたのだろうか。</p> <p>また「女歌」は視野が狭く、気宇壮大な「男歌」に劣るものという見方も根強い。</p> <p>*はたしてそうなのか。</p> <p>*文学作品の評価と、ジェンダーの問題。</p> <p>以下の詩歌を「鑑賞」しながら、考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代以前の「女歌」 ・与謝野晶子（山川登美子）の歌と詩 <ul style="list-style-type: none"> 『みだれ髪』（チョコレート語訳で、万智ちゃんの歌も一緒に見てしまおう）、『恋衣』など ・金子みすず ・『昭和万葉集』から、戦時下の女たちの歌 ・河野裕子『森のやうに獣のやうに』 ・道浦母都子『無援の抒情』 ・石垣りん・茨木のりこ の詩から 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験により評価。</p>	

【授業科目】 説話文学

【担当者】 東 喜望

【開講期】 2年 前期

【授業目標】 この授業では、日本の古典や現代小説となって、広く知られている説話をとりあげ、国内で近代まで伝えられている口承説話や海外の同類説話と比較しながら、その原話の姿や変容の意味を考察していきます。

【テキスト】 フォリントを配布する。

【参考書】

授 業 計 画

「説話」とは、口承または書承によって伝承されたさまざまな話のことである。神話・伝説・昔話・世間話・逸話・歴史話・童話などがこれにあたる。

時間の制約もあり、下記の作品を資料としながら、

(1) 羽衣説話・天人女房・白鳥伝説

(2) 棄老伝説

を考察していきます。下記のうち古典は精読する。

〈作品〉

(1) 『謡曲・羽衣』、『丹後国風土記』・香具社

民話「天人女房」、海外の白鳥伝説

(2) 『樞山節考』(深沢七郎)、『大和物語』、『今昔物語』

民話「女老捨て」、海外の棄老説話

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。配布プリント等参照可とする。
(追再試験は参照不可)

【授業科目】 平安文学	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>平安時代の文学の基本は、和歌にある。古今集の正統性からは外れた位置で、したたかに自己の抒情の方法を模索した和泉式部に焦点を当てて、その文学の特質について考えてみたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布プリント・岩波文庫『和泉式部日記』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>和泉式部の作品研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、和泉式部の和歌（『和泉式部歌集』） <p>歌集は1500首ほどの歌を含むが、代表的な歌を紹介しながら、和泉の詠法の特徴をつかみ、短詩型文学の達成について考えたい。</p> 2、『和泉式部日記』 <p>平安時代の日記文学の中でも、140首以上の和歌を含む特異な作品。ほとんどが敦道親王との恋の贈答歌である。和歌により、身分差を越えたコミュニケーションの可能性を切り開く、日記の展開に注目していく。</p> 3、和泉式部伝説の語るもの <p>母子相姦の話（『御伽草子』）まで飛び出したりする、和泉式部にまつわる様々な説話について、なぜそのような享受がなされるのか、時代背景とともに、和泉の和歌の問題として考えてみたい。</p> 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。ワンポイント・メモ、定期試験時レポート</p>	

【授業科目】 中近世の文学	【担当者】 東 喜望
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。</p>	
【テキスト】 武蔵野書院『大経師首脣・心中天の網島』	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p><u>授業の概要</u></p> <p>I. 講義 —— 中・近世期の文芸(特に演劇)について</p> <p>II. 作品講読(近世) —— 近松門左衛門『心中天の網島』</p> <p>III. 作品研究</p>	
【評価方法】 定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート参照可(追再試験は不可)。	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>谷崎潤一郎・武者小路実篤・志賀直哉・有島武郎等からプロレタリア文学に到る時期を中心に、日本の近代作家とその作品について講義する。</p> <p>①徹底して「作品世界」の中に入ること（作品論）、</p> <p>②時代の中での作家の在り方を考えること（作家論）の両面を目指したい。</p>	
【テキスト】 教科書は用いない。	
【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 大逆事件と新たな作家群の登場。 ② 永井荷風と耽美派の文学。 ③ 谷崎潤一郎——『刺青』『春琴抄』を中心に。 ④ 武者小路実篤と白樺派の文学。 ⑤ 志賀直哉——『和解』を中心に。 ⑥ 有島武郎——『或る女』を中心に。 ⑦ 有島武郎と芥川龍之介の自殺。 ⑧ 小林多喜二と日本プロレタリア文学。 ⑨ 横光利一・川端康成・堀辰雄。 	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 英米の文学	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀までのイギリス文学と19、20世紀のアメリカ文学の流れを理解し、またアメリカの主要な作品を分析的に読むことで、歴史的にどんな意味を持っているかを探る。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>一回一回の授業を次のようなテーマで講義していく。特に、アメリカ文学作品については、講義する作品を出きるだけ多く読んで欲しい。その中から一作品を選んでレポートを書いてもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 19世紀までのイギリス文学の流れ 2) 19、20世紀のアメリカ文学の流れ 3) 成功の夢、ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』 4) アメリカン・ルネッサンス、ナサニエル・ホーソン『非文字』 5) リアリズム1、マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 6) リアリズム2、セオドア・ドライサー『アメリカの悲劇』 7) 20年代1、フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 8) 20年代2、ヘミングウェイ『日はまた昇る』 9) 30年代、スタインベック『怒りの葡萄』 10) 南部作家、フォークナー『八月の光』 11) 戦後文学、J.D.サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』 12) 黒人女性文学1、アリス・ウォーカー『カラーパープル』 13) 黒人女性文学2、トニ・モリソン『ピラブド』 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 民俗学

【担当者】 東 喜望

【開講期】 2年 後期

【授業目標】 古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らなかったために、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では、古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様などを対象にして考察を進める。
なお、民俗の宝庫とされる南西諸島を事例とする。

【テキスト】 拙著『沖縄・奄美の説話と伝承』（おうふう・刊）

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義の概要

序（導入）— 「伝承」とは何か。

1. 「民俗」とは何か。
2. 西洋民俗学・日本民俗学の発祥と展開
3. 自然と人類
4. 人類の智慧と技術と生活文化（衣・食・住）
5. 非定住の生活 — 日本の山人・ユーラシア大陸の遊牧民・アジアの漂海民・日本の海人などを中心に
6. 定住の生活 — 焼き畑農耕から稲作農耕へ。
7. ムラの形成とその基本構造
8. 村落祭祀と民俗行事など

まとめ — 「^ヤ結い」、「脱国家」、「国家」の問題
文明の衰退・自然（地球）破壊の問題など。

【評価方法】 定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート等参照可とする（追再試は不可）。

【授業科目】 中近世の歴史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の中世というと「乱世」を思い浮かべる人が多いかもしれない。また、書院造の建物や茶の湯・いけばな・能狂言・お伽草子などの民衆文化が開花した時代だと思える人もいよう。暗さと明るさが同居しており、今日とはだいぶ様相のちがう時代に、人々、ことに庶民たちはどんな暮らしをし、どんな思いを抱いていたか、考えてみたい。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 『大系日本の歴史』 6.内乱と民衆の世紀（永原慶二） 7.戦国大名（脇田晴子） 8.天下一統（朝尾直弘） 小学館 1981年</p>	
授 業 計 画	
<p>近年、中世史研究では、具体的な生活への関心が高まり、また神話・説話・絵巻物などから時代を復元しようとする試みが行われている。この講義でもそのような成果をとりいれつつ、授業をすすめていきたい。</p> <p>1.はじめに 2.古代から中世へ (1) 浮浪人の大量発生 (2) 領主制の成立 (3) 平安時代の村落と民衆 3.鎌倉幕府体制の成立 (1) 治承寿永の内乱 (2) 鎌倉幕府の成立 (3) 地頭と農民 4.下剋上の社会 (1) 室町幕府体制 (2) 土一揆と惣村の自治 (3) 町衆と都市 (4) 戦国大名の成立と太閤検地 5.中世の民衆の意識と文化 (1) 十五歳という年齢 (2) 能狂言から (3) 日欧文化比較 (4) すがた・かたちから</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">レポート</p>	

【授業科目】 近現代の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>20世紀前半の世界は二つの大きな大戦を経験した。その中で日本も大きく揺れ動き、そのうねりの中で人々は翻弄された。戦前でもっともリベラルな状況をつくりだした大正デモクラシーが、なぜファシズムへと傾斜していったのか。その過程を明らかにすることが課題である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>藤原彰・今井清一編『15年戦争史』vol.1など。他にも多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>対象時期を取り上げる前提として、日本の近代のはじまりである幕末・維新期の特徴について言及する。次のようなテーマで時間軸に沿って話を進めたい。史料としては文献だけでなく、当時の最新のメディアであった映画なども使用したい。</p> <p>△開国＝近代のはじまり</p> <p>▲「富国強兵」「殖産興業」のかけ声の下に</p> <p>△日清・日露戦争の残したもの</p> <p>▲米騒動と民衆の力</p> <p>△労働者と農民、普選をめざす運動へ</p> <p>▲大正デモクラシー状況の意義と限界</p> <p>△昭和恐慌と満州事変－「満蒙は日本の生命線」だったのか</p> <p>▲天網恢々疎にして漏らさず－人々を取り巻く総動員の網の目</p> <p>△中国戦線の日本兵と銃後の守り－映像に見る戦時下の日本・中国</p> <p>▲侵略戦争の帰結－敗戦、ポツダム宣言、日本国憲法</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 東アジアの歴史	【担当者】 佐藤いづみ
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】 高校までの歴史の授業では、アジア史と言えば中国とほんの少し朝鮮についての記述があるだけです。しかし、台湾と ASEAN を構成している地域は、今日私たちと緊密に関係しあっているだけでなく、近現代史を通じて日本と深く関わってきました。講義では、台湾とベトナム、マレーシア（シンガポールを含む）、インドネシアを取り上げ、植民地化から現代までの歩みを学びます。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】 講義の中で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>① 台湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明朝の「海禁」政策と「小琉球」と呼ばれた台湾 ・ 大日本帝国の植民地第一号だった台湾 ・ 国民党の台湾と「内省人」、「外省人」の対立 <p>② マレーシア シンガポール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マラッカ王国に見る「港市国家」の特徴 ・ イギリス領海峡植民地の民族政策 ・ 日本軍政期…日中戦争の延長だった「大検証」 <p>③ インドネシア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒンドゥー化とイスラム化…交易ネットワークに乗って ・ オランダ領東インド植民地の強制裁培制度…東南アジア地域のモノカルチャー経済の形成と米輸出地帯の形成 ・ 日本軍政と独立 ・ 「多様性の中の統一」…インドネシア語の選択 ・ 東チモール・アチェ・モルク <p>④ ベトナム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国支配の歴史と独立への熱意…漢字文化圏 ・ 日本への留学運動とその挫折 ・ 日本軍の「仏印進駐」とトンキンの 200 万人餓死 	
<p>【評価方法】 学期末にテストを行う（ノート・プリント持ち込み可）</p>	

【授業科目】 日本女性史	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>女性がさまざまな障害をのりこえて、真に人間らしく生きていく展望を得るために、過去の女性の歴史を振り返ってみることは重要であろう。半年の課程なので、原始から近世までの前近代の女性史を中心とし、近代以降には簡単に触れる予定である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『史料に見る日本女性のあゆみ』総合女性史研究会編 吉川弘文館</p>	
<p>【参考書】</p> <p>『文学に見る日本女性の歴史』西村汎子ほか編 吉川弘文館 『日本女性の歴史—性・愛・家族』 角川書店</p>	
授 業 計 画	
<p>男性と比較しながら、各時代の女性の役割と地位、財産権、家族関係、道徳観、理想像などに注目し、たくましく生きた女性の生涯についても、できるだけとりあげたい。当時の法令、日記、文学、絵巻物などを通じて、女性たちの生活を考えていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原始女性は太陽であった—原始の平等生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 男女平等時代の存在 2) 性別役割分担 3) 性差別を生まない理由 4) 婚姻・家族関係 5) 神話の中の女性像 2. 性差別の始まり—古代の家族生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 律令制度と家父長制 2) 財産相続 3) 万葉集にみる民衆の生活 4) 平安貴族の妻の生活 5) 紫式部はなにをいいたかったか。 3. 嫁取り婚への動き—中世の女性たち <ol style="list-style-type: none"> 1) 家業の継承と家父長権の強まり 2) 男女の協力と役割分担 3) 分割相続と後家の権限 4) 婿入りから嫁入りへ 5) 室町戦国期の庶民の女性像 4. 封建道徳の確立期 <ol style="list-style-type: none"> 1) 女性の労働 2) 「家」と女性の経済的地位 3) 婚姻形態 4) 買売春—公娼と私娼 5) 女性の理想像—女大学・滑稽本 5. 近現代の女性解放 <ol style="list-style-type: none"> 1) 明治民法下の女性 2) 戦後の女性解放 3) 男女雇用機会均等法制定以後 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テストによる。あらかじめ提起した課題の中から出題する。</p>	

【授業科目名】 芸能史	【担当者】 高橋秀雄
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 芸能というこは"は、今日、もっとも広く用いられ、およそ肉体による演劇的、舞踊的、音楽的表現を総称するが、本来の芸能というこは"の語義を再確認するとともに、その歴史的な変転を詳しく探究することとする。	
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種芸能関係書（その都度指示する）	
授 業 計 画	
<p>芸能とは何かという命題を考究しながら、芸能の本質を明らかにし、さらに芸能事象の内容を分拆し、それが史的にはどのように展開していったのかについて論述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芸能の語義 2. 芸能というこは"が包含する内容 3. 芸能の種類分類 4. 芸能伝承論 5. 芸能史としての存立 6. 祭りと芸能 7. 民俗芸能論 — 神楽 8. 民俗芸能論 — 田楽 9. 民俗芸能論 — 凡流 10. 現代芸能論 	
【評価方法】 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点	

} 左記3項による総合評価

【授業科目】 現代女性論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女がともにそれぞれの能力を生かし、ともに人間らしく生きるためにはどうしたらよいか。性別役割分業の社会システムの問題性を明らかにし、男女共同参画社会を実現していくための課題を考える。</p>	
<p>【テキスト】 講義資料（プリント）は随時必要に応じて配布する</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>少子・高齢社会を迎えて女性を取り巻く社会環境は大きく変化し、女性の生き方も多様化しています。しかし「男は仕事・女は家庭」という性別役割分業意識と性別役割分業を基本とした社会システムは依然として存在し、女性が自立して生きることはまだまだ難しい状況にあります。そのことは同時に男性の人生にも大きな問題を投げかけています。そこでこの授業では、家族・家庭、教育、労働、福祉などの諸問題を、ジェンダーの視点から捉えることによって、現代の男女がおかれている問題状況を把握し、問題解決への理解を深めると同時に、これからの望ましい男女の生き方について考えます。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性の権利の歴史 2. 女性の自立と性別役割分業 3. 女性と家族・家庭 4. 現代社会と女性労働 5. 女性と社会保障 6. 男女平等を求める世界の動き。日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 女性労働論	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義資料（プリント）は随時必要に応じて配布する</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、解決への方向性を探る。なお職場における女性の状況を認識するために、新聞や雑誌などから女性労働に関する情報を収集する課題を出す予定である。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末試験、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 現代企業論	【担当者】 市原祐則
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の代表的会社の組織、経営実体、従業員、女子採用などについて解説する。会社が何をしているか、従業員はどういう職場でどんな仕事をしているか、女子従業員はどのくらいいるのかなどの基本的知識を修得することが目標。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布して行う</p>	
<p>【参考書】</p> <p>市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」(日経事業出版社)</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い会社、悪い会社、有名会社、無名の会社など ・ どのような業界がありどのような会社が所属しているか ・ 大企業と中小企業、株式会社と有現会社 ・ 従業員数の多い会社、少ない会社 ・ 会社の組織と職場、事務職・営業職と技術職・現場職などのうち女性が働いている職場の紹介 ・ 会社の採用計画の移り変わり、人材採用の変化 ・ 会社の採用計画にいかに対応するか。自己流の就職活動の立て方 ・ 目標は自立して生きていける社会人 ——などが含まれる 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト……………60%</p> <p>期末レポート……………40%</p>	

情報・資格科目
情報科目（2年）

【授業科目】 情報処理論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報というものをどのような視点から眺め、どの様に取り扱えばよいかという観点から講義をしてみたいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報と人間の関わり合いについて 2. 情報と生活との関わり合いについて 3. 情報と「もの」との関係について 4. 情報と概念 5. 情報とメディア 6. 情報とデータ 7. ビジネスアプリケーションと情報活用 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 情報ネットワーク論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>高度情報社会では、情報ネットワークの知識は、いまでは教養の範囲を越えて、社会や企業が求める重要な基礎知識になっている。本講義では、この情報ネットワークについてわかりやすく平易に説明したいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会とは 2. 情報ネットワークの発展について 3. コンピュータと情報ネットワークについて 4. WANとLANについて 5. 情報ネットワークの利用形態について 6. ネットワークとコミュニケーションについて 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

情報・資格科目
ビジネス実務士科目（2年）

【授業科目】 ビジネス実務総論	【担当者】 杉浦 允
-----------------	------------

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

ビジネスは、経営管理を支える重要な業務として捕らえることが出来ます。
 ビジネスには何が必要か、組織はどう機能すれば良いか、そこで働く人々はどの様に行動すべきかなど、ビジネスについての基礎知識と業務処理技術について習得出来るようにする。

【テキスト】

テキストは、ありません。プリントを配布して進めます。

【参考書】

杉浦 允著 「オフィス・マネジメント」学文社

授 業 計 画

回数	講義項目	主な講義内容	備考
1.	1. ビジネスとは、	ビジネスとは、ビジネスの形態・種類	
2.	2. ビジネス組織	組織とは、組織の階層、管理責任、	
3.	2. 3. ビジネスの基本	システム概念、管理の諸要素、PDS	
4.	3. ビジネス倫理と方針	経営理念、社会的責任、PR.	
5.	4. ビジネスの職場	職場とは、仕事、執務に就いて、	
6.	5. 企業が必要とする人材	望まれる人柄と性格、仕事に必要な技能	
7.	6. 仕事の基本姿勢	上役を助け、同僚との協調、仕事の基本	
8.	7. 環境変化への対応	情報化時代の環境変化、人間関係、	
9.	8. 命令の受け方、報告	命令の受け方と報告の仕方、	
10.	8. 3. 報告書の作り方	計画・実行・検討、報告ミスについて	
11.	9. 行動予定の管理	日程管理、予定表、アポイントメント、	
12.	10. 交際業務	交際とは、慶事とお祝い、表書き、	
13.	11. ビジネスマンの問題	問題解決のステップ、手順・種類・活用	
14.	全体の復習・予備	全体のまとめ、試験の予知	

【評価方法】

出席条件を満たしたものに対して、試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価します。

【授業科目】 ビジネス実務演習	【担当者】 富永静枝
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>職業意識を高め、職業人としての基本的な心構えと、ビジネス実務を効果的に行うための能力を養う</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業の中で資料を配布し、適宜参考文献を紹介する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業内容】</p> <p>I、ビデオ『日本経済の軌跡』を使って戦後から現代までの日本経済のあゆみを理解するほか、経済記事の読み方などの学習をする。</p> <p>II、コミュニケーション実務や情報の評価・収集・活用の方法、表現活動などオフィスワークの基本をビデオ教材などを使って、視覚的に理解する。</p> <p>III、サービス産業で求められるワーカーの要件を理解するために、企業見学や、「女性と仕事の未来館」の見学を行うほか、本学先輩たちを招いて職場の実態や仕事の内容、家庭と職業の両立などについて聞く予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業参加状況、レポートなどの総合評価</p>	

【授業科目】 ビジネス実務演習	【担当者】 小林洋子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会人としての良識ある行動と、コミュニケーションについて学習する。 企業での基本的マナーを身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>701121.</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身を知り自己啓発をする。エゴグラムによる自己分析 言語によるコミュニケーションと非言語によるコミュニケーションを理解する。 スローク理論を学ぶ必要の必要性を学ぶ。 2. コミュニケーションの基本を学習する 3. 美しい動作を習得する。 4. 敬語の書き方 仕事の進め方。受命 報告の仕方の基本を知る。 5. 電話応対の基本と正しい発音発声の仕方を体得する。 6. ビジネス文書の書き方。 7. プレゼンテーション スピーチ OR ロールプレイ。 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中の実習と筆記試験</p>	

【授業科目】 オフィス・マネジメント	【担当者】 杉浦 允																																																																
【開講期】 2年 後期																																																																	
【授業目標】 オフィスにおける事務活動について、事務のシステムや事務の効率化の問題、事務と情報との関連など、事務処理の知識・技術を活用できるよう習得する。																																																																	
【テキスト】 杉浦 允著 「オフィス・マネジメント」 学文社																																																																	
【参考書】																																																																	
授 業 計 画																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>講義項目</th> <th>主な講義内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1. 事務とは、</td> <td>事務の定義、事務の内容、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2. 事務管理と経営管理</td> <td>事務管理の概要、事務管理の歴史、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事務システム</td> <td>システム概念・構成、生産・販売</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>各システムの内容</td> <td>人事管理システム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3. 事務の合理化</td> <td>合理化の目的・内容、進め方、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4. 事務統制</td> <td>事務手続きの標準化、事務の品質管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5. OA化の影響</td> <td>EDPの機能、管理者の課業・変化、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6. 文書業務</td> <td>文書事務とは、文書の作成、書式、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>社内文書</td> <td>会議の案内・回覧・通達・伝言票、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>社外文書</td> <td>取引に関する文書、社交的な文書、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7. ファイリング・システム</td> <td>FSの意味・概要・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ファイリング</td> <td>保管とまとめ方、ファイルの並べ方、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>8. 情報管理</td> <td>情報の定義・概要・価値、</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>情報管理</td> <td>情報管理機能の結びつき</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9. オフィス環境の整備</td> <td>環境の整備、事務用機器の知識</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		回数	講義項目	主な講義内容	備考	1	1. 事務とは、	事務の定義、事務の内容、		2	2. 事務管理と経営管理	事務管理の概要、事務管理の歴史、		3	事務システム	システム概念・構成、生産・販売		4	各システムの内容	人事管理システム		5	3. 事務の合理化	合理化の目的・内容、進め方、		6	4. 事務統制	事務手続きの標準化、事務の品質管理		7	5. OA化の影響	EDPの機能、管理者の課業・変化、		8	6. 文書業務	文書事務とは、文書の作成、書式、		9	社内文書	会議の案内・回覧・通達・伝言票、		10	社外文書	取引に関する文書、社交的な文書、		11	7. ファイリング・システム	FSの意味・概要・		12	ファイリング	保管とまとめ方、ファイルの並べ方、		13	8. 情報管理	情報の定義・概要・価値、		14	情報管理	情報管理機能の結びつき		15	9. オフィス環境の整備	環境の整備、事務用機器の知識	
回数	講義項目	主な講義内容	備考																																																														
1	1. 事務とは、	事務の定義、事務の内容、																																																															
2	2. 事務管理と経営管理	事務管理の概要、事務管理の歴史、																																																															
3	事務システム	システム概念・構成、生産・販売																																																															
4	各システムの内容	人事管理システム																																																															
5	3. 事務の合理化	合理化の目的・内容、進め方、																																																															
6	4. 事務統制	事務手続きの標準化、事務の品質管理																																																															
7	5. OA化の影響	EDPの機能、管理者の課業・変化、																																																															
8	6. 文書業務	文書事務とは、文書の作成、書式、																																																															
9	社内文書	会議の案内・回覧・通達・伝言票、																																																															
10	社外文書	取引に関する文書、社交的な文書、																																																															
11	7. ファイリング・システム	FSの意味・概要・																																																															
12	ファイリング	保管とまとめ方、ファイルの並べ方、																																																															
13	8. 情報管理	情報の定義・概要・価値、																																																															
14	情報管理	情報管理機能の結びつき																																																															
15	9. オフィス環境の整備	環境の整備、事務用機器の知識																																																															
【評価方法】 出席条件を満たしたものに対して、本試験を実施し合格点に到達したものについて平常点を勘案して評価する。																																																																	

情報・資格科目
博物館科目（2年）

【授業科目】 博物館実習	【担当者】 上野光子・平賀明彦
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、3～4のそれぞれ性格の違う館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの構築などが実際にどのように進められ、またどのような点で苦労や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の成果を生かし、それぞれが2週間程度、博物館で実務研修を行う。</p>	
<p>【テキスト】 特になし</p>	
<p>【参考書】 必要に応じ紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。それぞれ掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
<p>【評価方法】 1年次の学内実習、見学レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する</p>	

【授業科目】 視聴覚教育メディア論	【担当者】 深水浩司
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、今までは各メディアで独立していたものが、マルチメディアという概念をもとにし、統合的にコンピュータ上で使用可能となっている。コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。図書館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義（実習）では、図書館において使用される（または今後使用されるであろう）資料を概括し、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール（たとえば Powerpoint など）を利用した資料の作成と、新たなメディアとして脚光を浴びている Web 技術を使用したページの構築や、さまざまなコミュニケーションツールの扱い方を学び、技術を習得する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

情報・資格科目
司書科目（2年）

【授業科目】 図書館サービス論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する社会機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『図書館サービス論』前園主計編著 東京書籍 1998 199p (新・現代図書館学講座 4) 『図書館サービス論』金中利和ほか編 樹村房 1999 181p (新・図書館学シリーズ 3) 『図書館サービス論』森智彦編著 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報学テキストシリーズ 3)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館サービスの意義と理念</p> <p>(2) 公共図書館におけるサービス</p> <p>(3) サービスの種類と方法 資料提供 読書案内 情報サービス 複写サービス 利用教育</p> <p>(4) 利用対象者別サービス 児童 青少年 一般成人 高齢者 障害者 アウトリーチサービス 多文化サービス</p> <p>(5) 館種別図書館サービス</p> <p>(6) 図書館サービスの協力</p> <p>(7) 図書館サービスと著作権</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結びけ、人々の研究・学習を援助することである。図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』長澤雅男 丸善 1995 『情報サービス概説』小田光宏 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』渋谷嘉彦編 樹村房 1988 (新・図書館テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』田村俊作編著 1999 (新 現代図書館学講座 5)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスとは何か</p> <p>(2) 情報サービスの構造と機能 図書館機能と情報サービス機能 直接的サービスと間接的サービス ほか 高度情報社会と情報サービス 図書館の情報サービスの变化など</p> <p>(3) 情報サービスの種類 直接的サービス 質問回答 利用指導 文献リスト作成 カレント・アウェアネス・サービス 案内・紹介サービス 間接的サービス 情報提供環境の整備 相互協力とネットワーク形成</p> <p>(4) 情報検索とサービスの展開 情報検索の定義と種類 オンライン書誌情報検索 図書館における情報検索サービスの展開</p> <p>(5) 情報探索行動とレファレンスプロセス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『情報源としてのレファレンスブックス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995</p> <p>『問題解決のためのレファレンスサービス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報(源)の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 二次資料の作成</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業時の演習レポートと期末レポート</p>	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>『専門資料論』中森強編著 東京書籍 1998 (新・現代図解辞書9)</p> <p>『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998 (新・図解辞書シリーズ8)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 専門分野の特性 人文科学、社会科学、自然科学等、各専門分野の概念と特性</p> <p>(2) 各専門分野の資料の特性と種類 人文科学情報 社会科学情報 自然科学技術情報 工学・工業技術情報</p> <p>(3) 主要な一次資料と二次資料</p> <p>(4) 専門資料とメディアの多様化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 深水浩司
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、今までは各メディアで独立していたものが、マルチメディアという概念をもとにし、統合的にコンピュータ上で使用可能となっている。コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。図書館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義（実習）では、図書館において使用される（または今後使用されるであろう）資料を概括し、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール（たとえば Powerpoint など）を利用した資料の作成と、新たなメディアとして脚光を浴びている Web 技術を使用したページの構築や、さまざまなコミュニケーションツールの扱い方を学び、技術を習得する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】 特に指定しません。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 態度変容(第1日)</p> <p style="padding-left: 2em;">態度と説得的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">説得への抵抗とリアクタンス理論</p> <p>2. 承諾誘導(第2日)</p> <p style="padding-left: 2em;">社会的勢力</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな承諾誘導技法</p> <p>3. 非言語的コミュニケーション(第3日)</p> <p style="padding-left: 2em;">さまざまな非言語的コミュニケーション</p> <p style="padding-left: 2em;">言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)</p>	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 深水浩司
【開講期】 2年 前期 (集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>本来、図書館特論のねらいは、「図書館における今日的な課題について取り上げ解説する」ことにある。本講義では、図書館における資源を、情報と人的に分け、前者は情報機器の核となるコンピュータを中心に、後者は「人」についての今日の問題を考察し理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>本講義では、まず、図書館における情報資源と人的資源を簡単にまとめ、情報資源については、情報機器とくにコンピュータで扱える情報を中心に解説し考察する。具体的には、情報の所在についての知識習得、情報へのアクセス手法、情報検索技法、コンピュータリテラシー教育、メディアリテラシー教育などを学ぶ。</p> <p>また、人的資源については、今日の問題として図書館職員（とくに司書職）を含めたアウトソーシングや人員削減問題について考え、受講者なりの意見をまとめ上げてもらいたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619